マニュアルの使いかた

安心してお使いいただくために

- 本製品をお取り扱いいただくための注意事項
  ご使用前に必ずお読みください。

REGZA Tabletガイド（本書）

- 本製品の準備
- 本製品のセットアップ
- インターネットを使うには
- Q&A集（電源が入らないとき）
- 各部の名前
- 電源の入れかた／切りかた
- 初期化
- 廃棄／譲渡

など

オンラインマニュアル

本製品が起動しているときに本製品の画面上で見るマニュアルです。

- 本製品の基本操作
- ネットワーク機能
- 周辺機器の接続
- バッテリーで使う方法
- アプリケーション／設定
- 本製品の動作がおかしいとき／Q&A集

など

もくじ

『オンラインマニュアル』もあわせてご覧ください。
参照 「1章 7 画面で見るマニュアル」

5章 困ったときは 69

付録 87

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。
必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。
本書は、次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

⚠危 険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警 告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注 意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルやほかのマニュアルへの参照先を示します。 ● このマニュアルへの参照の場合…「　」 ● ほかのマニュアルやヘルプへの参照の場合…『　』

＊1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど（高温・低温）、感電などをさします。
＊3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

2 用語について

本書では、次のように定義します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

プラットフォーム

特に説明がない場合は、Android™ 3.2 プラットフォームを示します。

ご購入のモデルのシリーズ名、モデル名、仕様については、『＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

3 記載について

- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊モデルの場合」や「＊＊＊＊シリーズのみ」などのように注記します。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールされているバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本書に記載している画面やイラストは、本製品の画面を横に長い状態で使用することを前提に説明しています。
- 本書は、語尾をのばすカタカナ語の表記において、語尾に長音（ー）を適用しています。
  画面の表示と異なる場合がありますが、読み換えてご使用ください。

4 Trademarks

- Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Google音声検索は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- microSDロゴは商標です。（microSD）
- Bluetoothは、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC. の登録商標または商標です。
- FSKAREN®は、富士ソフトの登録商標です。
- ThinkFree Mobile Office®の名称は、Hancom Inc(HNC).が使用権許諾を受けている登録商標です。
- Officeは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- McAfee、マカフィーは、米国法人McAfee,Ink.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
- Evernoteは、米EVERNOTE社の登録商標です。
- 「IPAフォント」は、IPAの登録商標です。

本書に掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
- 電源に接続せずバッテリー駆動にて本製品を使用する場合
- マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- 本製品を低速度のネットワークに接続して使用する場合
- 複雑な造形に使用するソフト（たとえば、運用に高性能コンピューターが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合
- 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
  目安として、標高1,000メートル（3,280フィート）以上をお考えください。
- 目安として、気温5～30℃（高所の場合25℃）の範囲を超えるような外気温の状態で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPUの処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。
また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。
これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。
なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

このほかの使用制限事項につきましては各種説明書をお読みください。また、詳細な情報については東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

6 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

7 お願い

● 本製品のプラットフォーム、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
● 本製品のプラットフォーム、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
● 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
● 本製品の画像データは、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
● 本製品はセキュリティ対策のための画面ロックによるパターン／PIN／パスワードの設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。
  セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
● ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と、『エンドユーザーライセンス契約』および各種別紙をお読みください。また､本製品のセットアップ後に［アプリ］ボタン→［設定］→［タブレット情報］→［法的情報］で次の項目をタップし、それぞれ表示される画面をお読みください。
  ・オープンソースライセンス
  ・Google™利用規約＊1
  ・東芝利用規約
  ・IPAフォントライセンスv1.0
  ＊1 インターネットへの接続が必要です。
● アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。初期化を行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
●『東芝保証書』は、記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録（ユーザー登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

参照 詳細について『オンラインマニュアル』

8 環境依存文字について

フォルダー名などに環境依存文字が含まれていると、ファイルの読み込みや保存などが正常に動作しないことがあります。
ファイル名やファイル内の文字列に環境依存文字が含まれていると、ファイル名が「?」などのように正しく表示されず、正常に動作しないことがあります。
また、アプリケーション上でファイルの編集中に入力した文字列に環境依存文字が含まれていると、作成したファイル上で正しく表示されないことがあります。
このような場合には、環境依存文字を含まない文字列に変更してください。
microSDメモリカードなどの記録メディアにデータを書き込むときは、環境依存文字が含まれていないことをあらかじめ確認してから作業を行ってください。

1章

本製品の準備

この章では、本製品のセットアップ、電源の切りかた／入れかたなど、お買い上げいただいてから実際に使い始めるまでの準備と、本体各部の名前や基本的な使いかたについて説明しています。
また、本製品にご用意しているマニュアルについて説明しています。

1 使う前に確認する

1 箱を開けたらまずはこれから

■箱の中身の確認

『＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照して、付属品がそろっているか、確認してください。足りない物がある場合や、破損している物がある場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照 東芝PCあんしんサポート『サポートガイド』

■型番と製造番号を確認

型番と製造番号は本体裏面に記載されています。保証書に同じ番号が記載されていることを確認してください。番号が違う場合や、不備があった場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照 記載位置について「本章 2 各部の名称」

2 忘れずに行ってください

■使用する前に

ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と、『エンドユーザーライセンス契約』および各種別紙をお読みください。また、本製品のセットアップ後に［アプリ］ボタン→［設定］→［タブレット情報］→［法的情報］で次の項目をタップし、それぞれ表示される画面をお読みください。

・オープンソースライセンス
・Google™利用規約＊1
・東芝利用規約
・IPAフォントライセンスv1.0

＊1 インターネットへの接続が必要です。

■保証書は大切に保管

故障やトラブルが起こった場合、保証書があれば保証期間中（保証期間については保証書を確認してください）は東芝の無料修理サービスが受けられます。
保証書に記載の内容を読んで、確認したあと、大切に保管してください。

本書は、取扱説明書等の注意書きによる正常なご使用において故障した場合、裏面の「無料修理規定」に準じて、無料修理をお約束するものです。

★お買い上げ日(Purchase Date) 西暦　年　月　日
★お客様情報　お名前　フリガナ
ご住所　〒□□□-□□□□
電話：

本書は日本国内での保証と、ILW対象製品（上記※欄に ILW が記載）の海外保証（制限付）を証明します（ILWについては、対象製品に付属の「東芝PCサポートのご案内」をご覧ください）。
If " ILW " appears at the top of this section, this product is covered by the ILW from the date of purchase for the period shown in parenthesis.
※本書の再発行はいたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
ご販売店様へ：必ずお買い上げ日、貴販売店名等をご記入の上、お客様にお渡しください。
★ご販売店名、住所、電話番号
株式会社東芝

3 最適な場所で使う

人間にとって住みやすい温度と湿度の環境が、本製品にも最適な環境です。
次の点に注意して使う場所を決めてください。

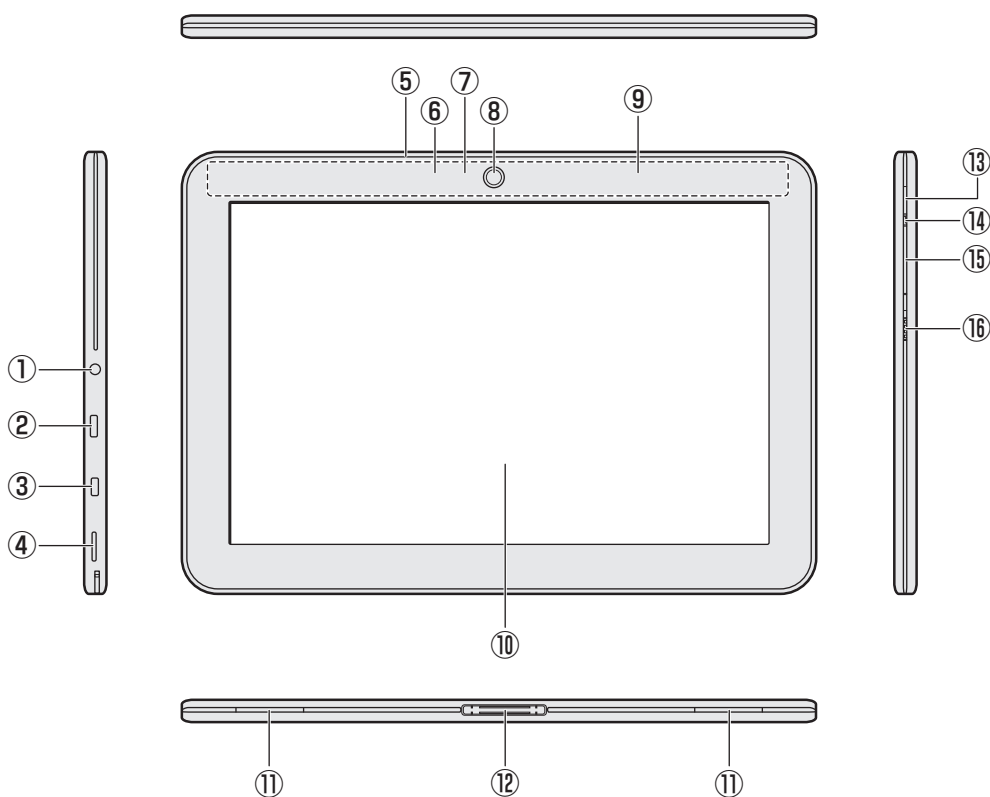
- 温度や湿度が高いところは避けましょう。
  暖房や加湿器の送風が直接あたる場所はよくありません。
- 強い磁気を発するものの近くで使用しないでください。
  磁石はもちろん、スピーカー、テレビの近くは磁気の影響を受けます。磁気ブレスレットなども本製品を使用するときははずすようにしましょう。
- 照明や日光があたる位置も考慮しましょう。
  照明や日光が直接ディスプレイにあたると、反射して画面が見づらくなります。
- ラジオやテレビの近くで使用しないでください。
  ラジオやテレビの受信障害を引き起こすことがあります。
- 無線通信装置から離してください。
  携帯電話も無線通信装置の一種です。

2 各部の名称
ー外観図ー

ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。
それぞれの詳細は、『オンラインマニュアル』を確認してください。

お願い **外観図について**

- 本製品に表示されている、コネクタ、LED、スイッチのマーク（アイコン）は最大構成を想定した設計となっています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。ご購入のモデルの仕様については、『＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

■前面

① ヘッドセット/ヘッドホン端子
　ヘッドセット／ヘッドホンを接続します。
② microUSBコネクタ
　USBケーブルを使用して本製品とパソコンを接続します。

　参照 『オンラインマニュアル 2章 6 ほかのパソコンに接続する』

　また、microUSBコネクタを変換するケーブルを使用することで、USB対応機器を接続できます。

　参照 『オンラインマニュアル 4章 4 USB対応機器を使う』

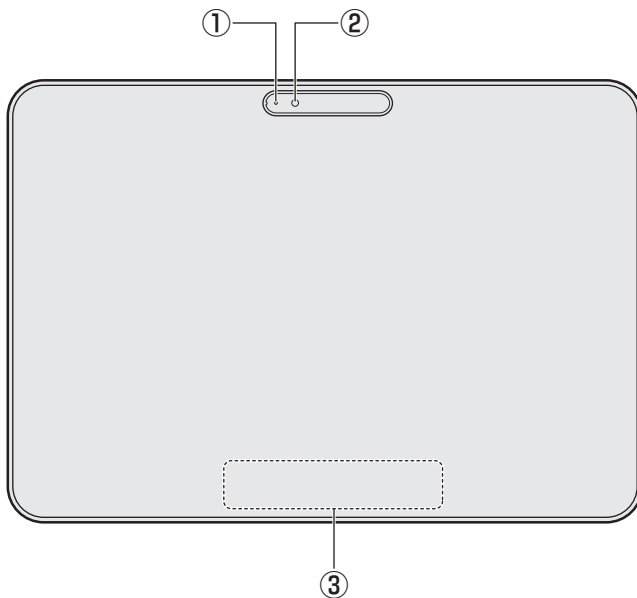
　microAタイプおよびmicroBタイプのプラグに対応しています。
③ HDMI microHDMI出力端子
　microHDMIケーブルを接続して、HDMI入力対応機器（テレビ、プロジェクターなど）に本製品の映像を表示します。
④ microSD microSDカードスロット
　microSDメモリカードをセットします。
⑤内蔵マイク
⑥Webカメラインジケーター
⑦照度センサー
　この部分に本体液晶ディスプレイの明るさを自動調整するためのセンサーが内蔵されています。
⑧Webカメラ
⑨この部分に無線LANアンテナ、Bluetoothアンテナが内蔵されています。
⑩ディスプレイ
⑪スピーカー
⑫ドッキングポート
　電源コードや東芝製オプションの卓上スタンド2を接続できます。
⑬電源スイッチ
⑭インジケーター

　参照 『オンラインマニュアル 2章 7 インジケーター』

⑮音量小ボタン/音量大ボタン
　音量を調整します。
⑯マルチファンクションスイッチ
　画面が縦や横に回転しないように、向きを固定するスイッチです。

　参照 『オンラインマニュアル 2章 2 画面を見やすく調整する』

　また、スイッチの機能を、ミュート（消音）のON／OFFに切り替えることもできます。
　［アプリ］ボタン→［設定］→［画面］→［マルチファンクションスイッチ設定］で切り替えてください。

■背面

①Webカメラフラッシュライト
②Webカメラ
③製造番号と型番
製造番号と型番が記載されています。

お願い 本製品の本体について

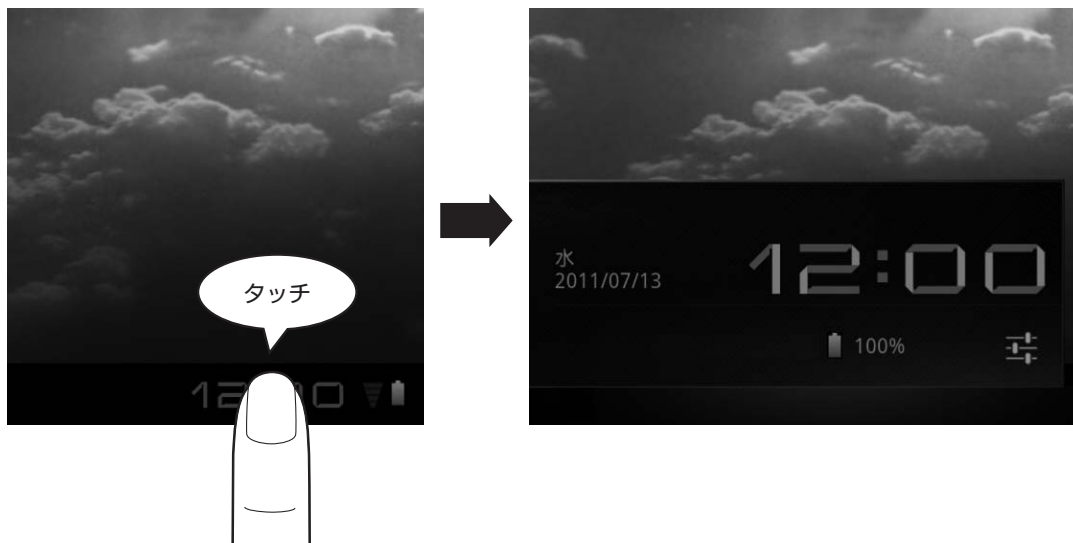
■ 画面／スイッチ／ボタンの操作にあたって
- あらかじめ、「付録 1 - 1 本製品の本体について」を確認してください。

■ 機器への強い衝撃や外圧について
- あらかじめ、「付録 1 - 1 - 機器への強い衝撃や外圧について」を確認してください。

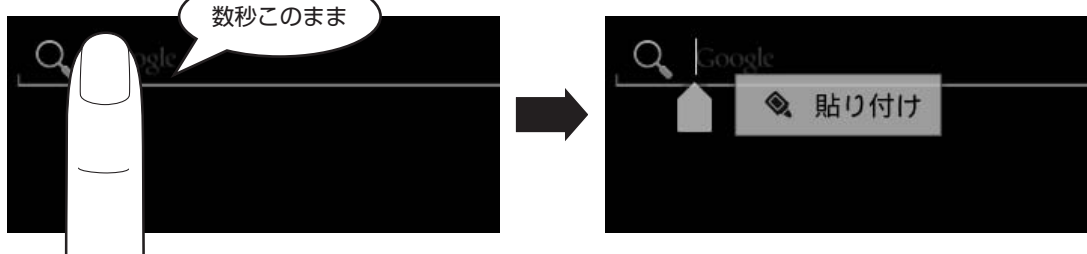
3 画面にタッチして操作する

本製品では、画面の表面を指でタッチすることによって、さまざまな操作を行うことができます。マウスやキーボードを使うことなく、画面を指でさわってアイコンを選択したり、画面をスクロールしたりします。
ここでは、指を使った基本的な操作を説明します。

■タップ

目的のアイコンやボタンなどを1回軽くタッチします。この操作を「タップ」と呼びます。アプリケーションの起動や文字の入力、ボタンの操作の実行などが行えます。
<例>

システムバーをタップします。　システムバーの詳細表示が表示されます。

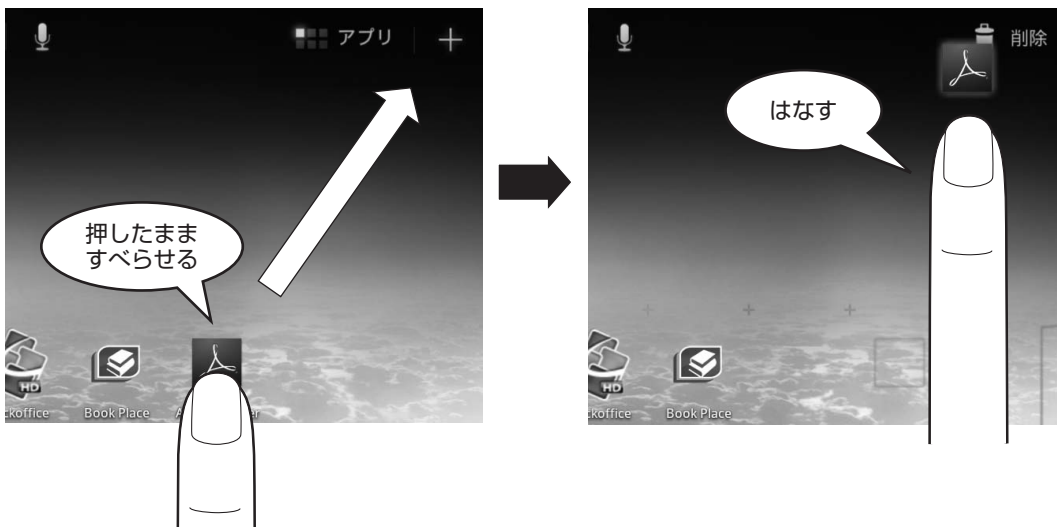
■タップ アンド ホールド

アイコンなどをタップした指を画面上の目的の位置に置き、反応が起こるまで画面に置いたままにします。
<例>

コピーした文字列を貼り付ける位置でタップ アンド ホールドします。

［貼り付け］が表示されます。
［貼り付け］をタップすると、文字列が貼り付けられます。

■ドラッグ

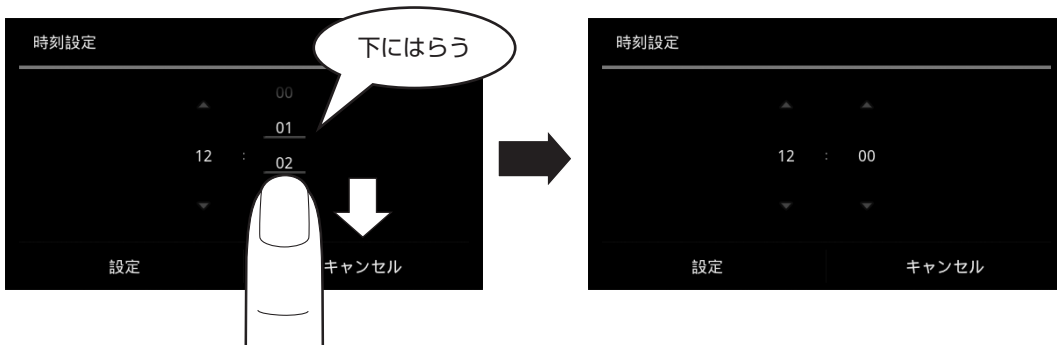
アイコンやウィジェットをタップ アンド ホールドしてから、指を画面からはなさずに、移動したい場所まですべらせます。

<例>

アイコンをドラッグすると、削除アイコンが表示されます。
ドラッグしたまま削除アイコンまですべらせます。

削除アイコン上で指をはなすと、アイコンが削除されます。

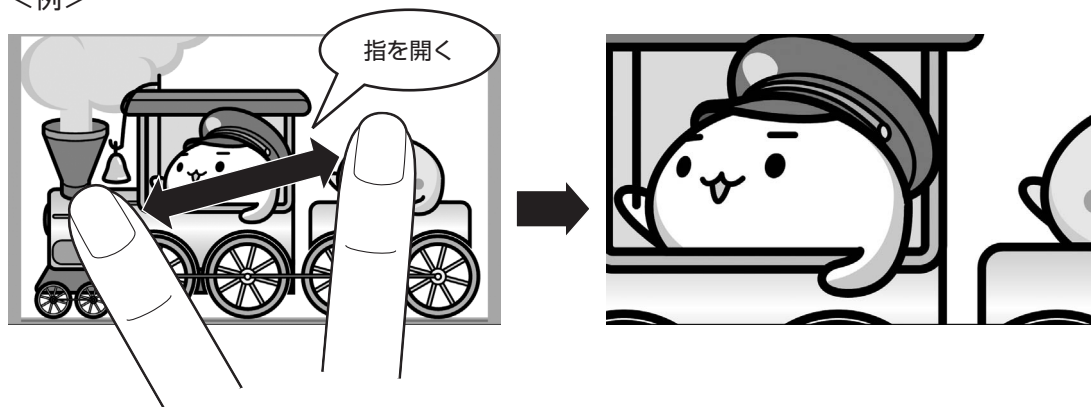
■スワイプ／スライド

画面に指を置き、時間をおかずに、画面を軽くはらうように動かしたり（スワイプ）、なぞったり（スライド）します。
画面に項目を表示しきれない一覧をスクロールする場合などに、画面をスワイプ／スライドします。

<例>

「分」のダイヤルを下にはらいます。

「分」の表示が変更されます。

■ピンチ

画面に指を2本置き、指を開いたり閉じたりすることで、ブラウザーに表示している内容や、イメージデータの表示サイズを変更できます。
指を開くと拡大され、閉じると縮小されます。
<例>

2本の指を開きます。　イメージデータが拡大表示されます。

メモ

- 目的のアイコンやボタンなどを2回軽くタッチする操作を「ダブルタップ」と呼びます。
  ダブルタップを行っても、ブラウザーに表示している内容や、イメージデータを拡大／縮小できます。

4 本製品を使えるようにする

1 セットアップ

初めて電源を入れたときは、セットアップを行います。
セットアップは、本製品を使えるようにするために必要な操作です。
セットアップには約５分かかります。
作業を始める前に、付属の冊子『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。
特に電源コードやACアダプターの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

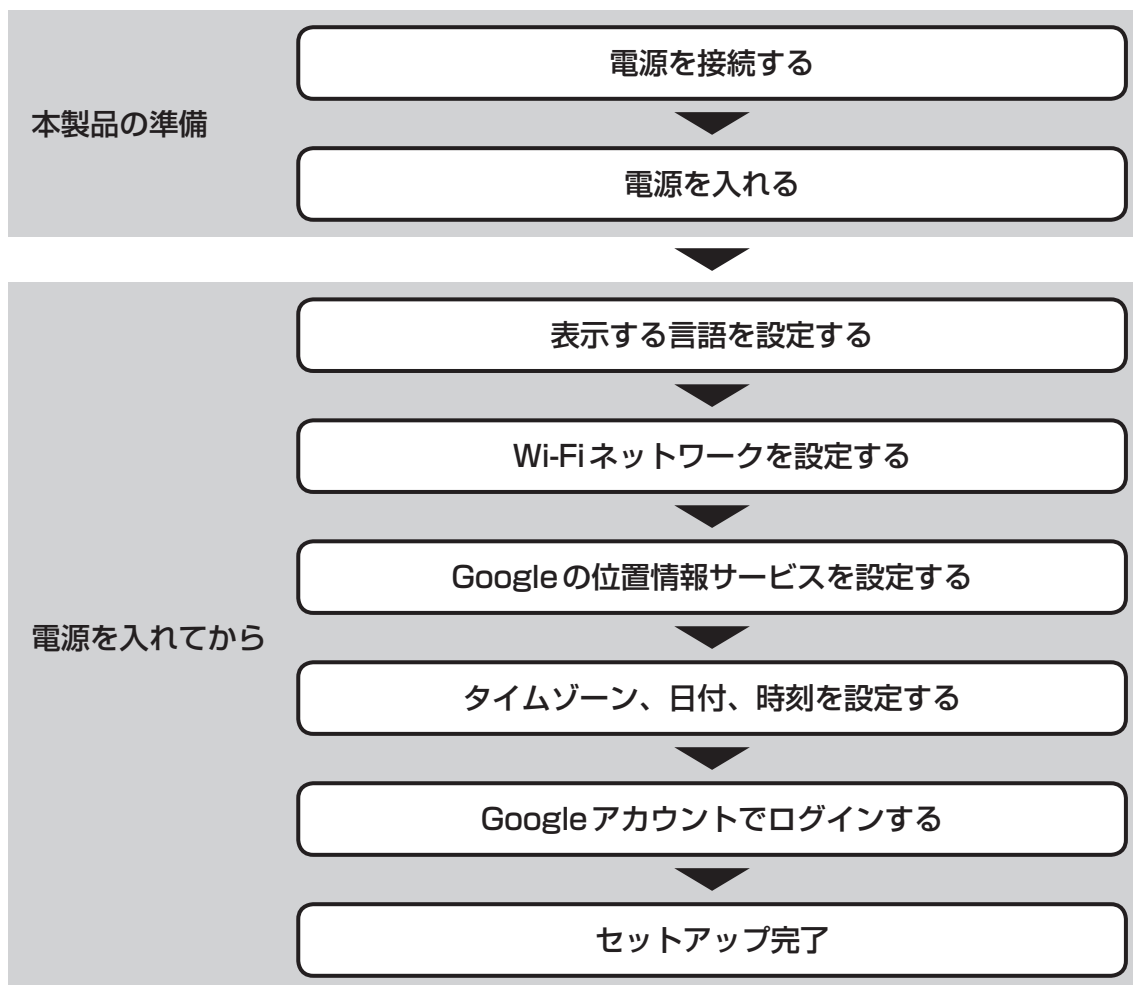
1 操作の流れ

本製品の準備

- 電源を接続する
- ▼
- 電源を入れる

▼

電源を入れてから

- 表示する言語を設定する
- ▼
- Wi-Fiネットワークを設定する
- ▼
- Googleの位置情報サービスを設定する
- ▼
- タイムゾーン、日付、時刻を設定する
- ▼
- Googleアカウントでログインする
- ▼
- セットアップ完了

お願い セットアップをするときの注意

■ **周辺機器は接続しないでください**

- セットアップはACアダプターと電源コード、または電源コードのみを接続して行います。
  セットアップが完了するまでは、周辺機器を取りはずしてください。

■ **途中で電源を切らないでください**

- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり、修理が必要となることがあります。

■ **操作は時間をあけないでください**

- セットアップ中に入力が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。
  しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作してサスペンド状態となったためで、故障ではありません。
  サスペンド状態から復帰するには、電源スイッチを押してください。

2 電源を接続する

本製品の電源接続には、次の方法があります。

- 電源コードとACアダプターを接続する
- 電源コードとパソコンを接続する

⚠ 警 告

- **ACアダプターは本製品に付属のものを使用する**
  本製品付属以外のACアダプターを使用すると電圧や（＋）（－）の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。
- **本製品にACアダプターを接続する場合、本書に記載してある順番を守って接続する**
  順番を守らないと、電源コードのプラグが帯電し、感電またはけがをする場合があります。
  また、電源コードのプラグを本製品のドッキングポート以外の金属部分に触れないようにしてください。

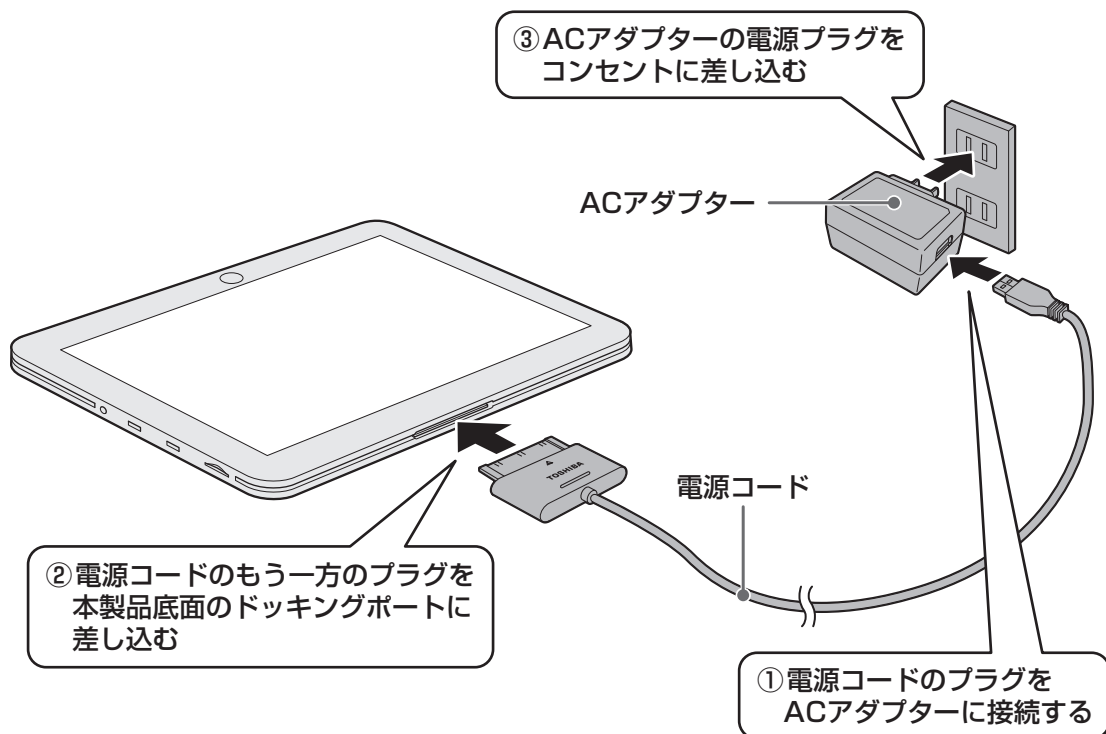
⚠ 注 意

- **付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター以外には使用しない**
  付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター専用です。

お願い 電源コードの取り扱いについて

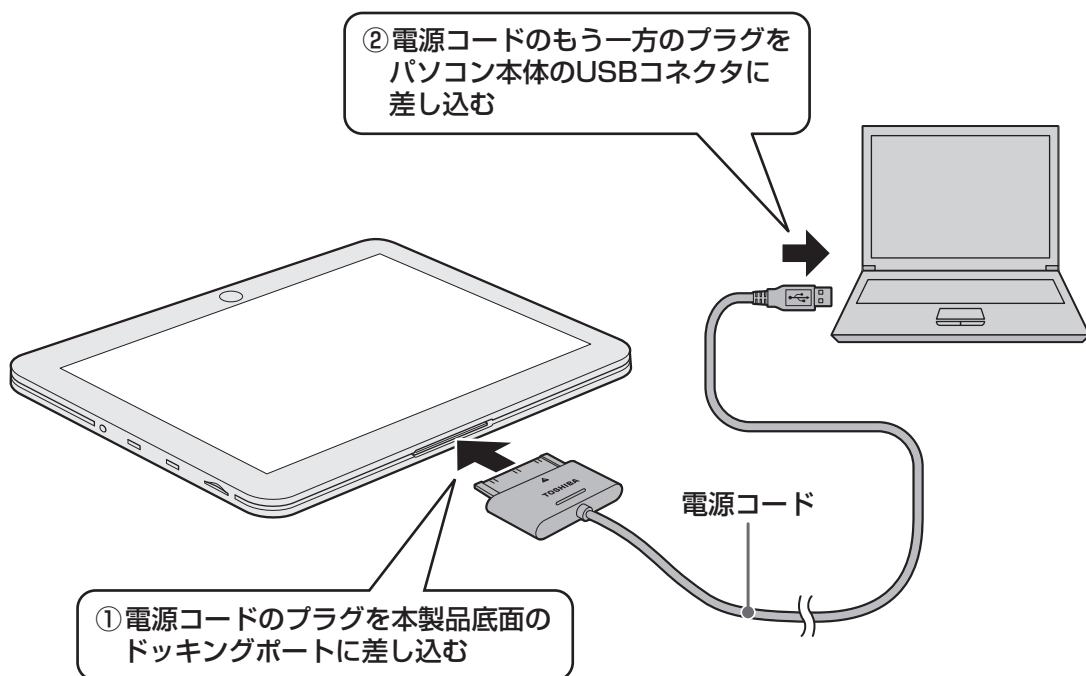
● あらかじめ、「付録 1 - 2 電源コードの取り扱いについて」を確認してください。

電源コードとACアダプターを接続する

次の図の①→②→③の順で行ってください。

電源コードとパソコンを接続する

お願い セットアップを行うときは

- 電源コードとパソコンを接続して本製品の電源を接続する場合は、パソコンを電源コードに接続し、電源を入れた状態で使用してください。

次の図の①→②の順で行ってください。

電源を接続すると

インジケーターが白色に点灯し、バッテリーへの充電が自動的に始まります。
充電が完了すると、インジケーターが消灯します。

メモ

- バッテリー充電中でも本製品を使用することができます。

  参照 詳細について『オンラインマニュアル 5章 バッテリー駆動で使う』

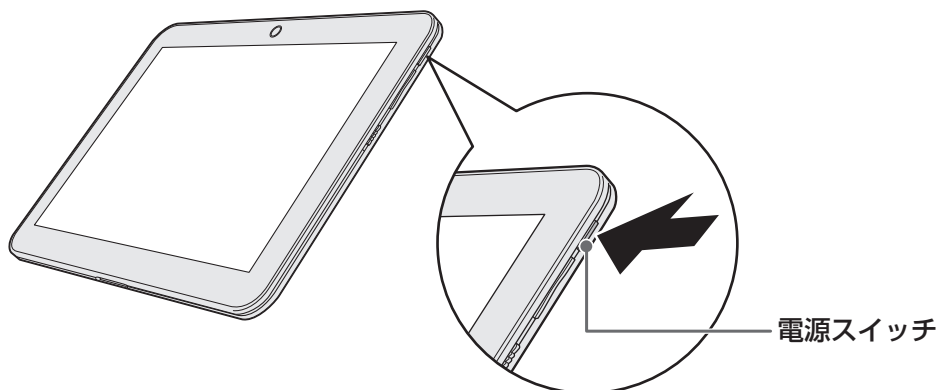
3 電源を入れる

1 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。

メモ

- 電源OFF時には、どのモードに設定していても、インジケーターは自動的に電源/バッテリモードになります。

  参照 電源/バッテリモード『オンラインマニュアル 2章 7 インジケーター』

これで本製品の準備は完了です。
続いて本製品のセットアップに進みます。

4 本製品のセットアップ

1 表示する言語を設定する

画面の指示に従って、表示する言語を設定してください。
画面が日本語以外の言語で表示されている場合は、表示されている言語をタップして［日本語］を選択してください。

2 Wi-Fiネットワークを設定する

接続範囲内にあるWi-Fiネットワーク（無線LANアクセスポイント）のリストが表示されます。使用するWi-Fiネットワークをタップ後、画面の指示に従って必要な項目を設定してください。

メモ

- Wi-Fiネットワークが表示されない場合は、Wi-Fiネットワークの電波が十分に届く場所に移動して、リストを更新してください。
- Wi-Fiネットワークの設定をスキップして、セットアップ完了後に実行することもできます。

参照 「2章 インターネットを快適に利用するために」

3 Google の位置情報サービスを設定する

画面に表示されている説明をお読みになり、画面の指示に従って設定してください。
位置情報サービスを使用しない場合はチェックをはずしてください。

4 タイムゾーン、日付、時刻を設定する

画面の指示に従って、タイムゾーン、日付、時刻を設定してください。

メモ

- 日付と時刻を手動で設定する場合は、自動設定のチェックをはずしてください。

5 Googleアカウントでログインする

画面の指示に従って、Googleアカウントでログインしてください。
すでにお持ちのGoogleアカウントを使用してログインするか、新しくGoogleアカウントを作成してください。

メモ

- Wi-Fiネットワークの設定をスキップした場合は、表示されません。
- インターネットに接続できる環境が必要です。
- Googleアカウントでのログインをスキップして、セットアップ完了後に実行することもできます。

セットアップが完了します。
本製品のホーム画面が表示されます。

（表示例）

「TOSHIBA Service Station」のメッセージが表示された場合は、次の「本項 5 「TOSHIBA Service Station」について」を確認してください。

メモ

- しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作してサスペンド状態となったためで、故障ではありません。
  サスペンド状態から復帰するには、電源スイッチを押してください。

5 「TOSHIBA Service Station」について

「TOSHIBA Service Station」は、ソフトウェアのアップデートを自動的に提供するためのソフトウェアです。以降の説明をお読みのうえ、「TOSHIBA Service Station」を使用して、本製品を最新の状態に保つことを強くおすすめします。
このソフトウェアは本製品の識別情報などを当社のサーバーへ送信します。使用できるように設定する前に、詳しい内容を説明した使用許諾書が表示されますので、よくお読みください。

お願い 「TOSHIBA Service Station」を使用するには

- 「TOSHIBA Service Station」はACアダプター、または電源コードを取り付けてご使用ください。

メモ

- 「TOSHIBA Service Station」を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。
- 「TOSHIBA Service Station」は、本製品に用意されているアプリケーションやプラットフォームのうち、一部についてアップデートをお知らせします。「dynabook.com」にアクセスし、「よくある質問FAQ」やウイルス・セキュリティ情報などとあわせてご利用ください。
- プラットフォームをアップデートした場合は、プラットフォームの領域のみがアップデートされます。お客様のデータ領域は保持されます。

設定方法

「TOSHIBA Service Station」を使用できるように設定する方法は、次のとおりです。

1 本製品起動後、［アプリ］ボタンをタップし、［Service Station］をタップする

初めて起動したときは、本ソフトウェアに関する詳しい説明（使用許諾書）が表示されます。

2 内容を確認し、［同意する］ボタンをタップする

使用許諾書に同意しない限り「TOSHIBA Service Station」は動作しません。
使用許諾書に同意すると、以降は、ソフトウェアのアップデートを検出する機能が、本製品を起動すると自動的に動作します。

使用方法

「TOSHIBA Service Station」は、本製品に関するアップデートがあるかどうか、定期的にチェックしています。

❑ ダウンロード

本製品に用意されているアプリケーションにアップデートがあることを検知すると、ステータスバーに「TOSHIBA Service Station」のアイコンが表示されているときは、メッセージ「X件の新しいソフトウェアのアップデート（更新）があります。」が表示されます。
メッセージを確認し、画面の指示に従ってダウンロードしてください。

❑ インストール

アップデートをダウンロードしたとき、本製品に適用するためにインストール操作が必要です。
ダウンロード完了メッセージを確認し、画面の指示に従ってインストールしてください。

❑ プラットフォームのアップデート

プラットフォームのアップデートは、途中で中断できません。本製品のセットアップ画面が表示されるまで、何も操作せずにお待ちください。途中で電源を切らないでください。

ソフトウェアやプラットフォームのアップデートを手動で確認したい場合は、［アプリ］ボタン→［Service Station］をタップし、［すべてのアップデートを確認］をタップしてください。

メモ

- 「TOSHIBA Service Starion」は自動的にアップデート情報を検知するので、通常は手動で確認する必要はありません。

6 セットアップが終了したら

日付と時刻の確認

日付と時刻は、［アプリ］ボタン→［設定］の［日付と時刻］で確認できます。
正しく表示されていない場合は、設定しなおしてください。
日付は［日付設定］、時刻は［時刻設定］で設定します。
なお、時刻はステータスバーエリアでも確認できます。

12:00

（表示例）

バックアップをとる

作成したファイルを誤って削除してしまったり、突然のトラブルによって保存したファイルが使えなくなってしまうことがあります。
このような場合に備えて、あらかじめファイルをmicroSDメモリカードなどの記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。
一度なくしたデータを復旧することはできません。万が一のために、必ず定期的にバックアップをとりましょう。

参照 バックアップについて『オンラインマニュアル』

5 本製品の電源について

本製品は、常時電源を入れた状態で使用できます。ただしバッテリーを使い切ると電源は切れ、充電が必要となります。バッテリー残量の減少をおさえるため、本製品には省電力機能が搭載されています。購入時の状態では、電源を入れたまま本製品をしばらく操作しないと、省電力機能が働き、時間経過とともに次のように本製品の状態が変わります。

サスペンド状態になる

- メモリ上に作業中のデータが保存されている状態です。
- バッテリーを消耗します。ただし、画面表示をOFFにし、内蔵フラッシュメモリへのアクセスを停止している分だけ、バッテリーの消耗をおさえられます。
- 電源スイッチを押すと復帰します。
- サスペンド状態のままバッテリーを使い切ると、電源が切れます。

電源が切れる

- 画面の表示が消え、電源が切れます。
- 作業中のデータがあった場合は、データは消失しています。
- 電源が切れている状態でも、バッテリーは自然放電しています。

バッテリーを使い切って、電源が切れた場合は、未保存のデータなどは消失します。バッテリー残量の減少をおさえるため、手動でサスペンドにしたり、電源を切ったりする場合は、次のように操作します。

⚠ 警 告

- 電子機器の使用が制限されている場所では本製品の電源を切る
  本製品を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定した上で、本製品の電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
  - ・無線通信機能は、システムバーをタップし、詳細表示をタップして表示される［クイック設定］メニューの［機内モード］でOFFにすることができます。［機内モード］をONに切り替えて無線通信機能をOFFに設定してください。
  - ・サスペンドでは、本製品が自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
  - ・電源を切った状態でも本製品が自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効に（解除）してください。

1 サスペンド

本製品の使用を中断する場合は、本製品を「サスペンド」にしましょう。
サスペンド状態にしておくと、作業中のデータはそのままで、画面表示のみがオフになります。
電源を切らずに作業を中断するため、再度電源スイッチを押したときに、中断時の状態が素早く再現されます。ただし、サスペンド中もバッテリーは消耗します。
自宅またはオフィスで本製品を使用する場合、サスペンド中はAC アダプター、または電源コードに接続しておくことをおすすめします。
なお、数日以上使用しないときはサスペンドにせず、必ず電源を切ってください。

お願い **操作にあたって**

中断する前に

- サスペンドを実行する前にデータを保存することを推奨します。
- サスペンドを実行するときは、記録メディアへの書き込みが完全に終了していることを確認してください。
  書き込み途中のデータがある状態でサスペンドを実行したとき、データが正しく書き込まれないことがあります。記録メディアを取り出せる状態になっていれば書き込みは終了しています。

中断したときは

- サスペンド中にバッテリー残量が減少した場合、次回起動時に本製品が起動しないことがあります。
  本製品が起動しない場合は、電源スイッチを10秒間押していったん電源を切ったあと、再度電源を入れてください。この場合、サスペンド前の状態は保持できていません。
- サスペンドを利用しないときは、データを保存し、ホーム画面に戻ってから、電源を切ってください。保存されていないデータは消失します。

1 電源ボタンを押す

10秒以上押し続けると強制終了になりますので、ご注意ください。
画面の表示がOFFになり、サスペンド状態になります。
電源/バッテリモードに設定している場合のインジケーターの状態は以下のとおりです。

- 充電中は、白色に点灯します。
- 充電が完了しているとき、または電源に接続していないときは、消灯します。

電源スイッチを押すと、中断したときの状態が再現されます。

参照 電源/バッテリモード『オンラインマニュアル 2章 7 インジケーター』

2 電源を切る

電源を切るには、次のように操作してください。間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失うおそれがあります。

お願い　電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 内蔵フラッシュメモリやmicroSDメモリカードなどにアクセス中は電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

1 電源ボタンを2秒間押す

メニュー画面が表示されます。押す時間が短いとディスプレイがOFFになり、10秒以上押し続けると強制終了になりますので、ご注意ください。

確認の画面が表示されます。

2 ［OK］ボタンをタップする

本製品の電源が切れます。

インジケーターで電源とバッテリーの状態を確認してください。

参照 「本節 3 - 電源とバッテリーに関する表示」

メモ

- 電源OFF時には、どのモードに設定していても、インジケーターは自動的に電源/バッテリモードになります。

参照 電源/バッテリモード『オンラインマニュアル 2章 7 インジケーター』

お願い　電源を切ったあとは

- 本製品に接続している機器（周辺機器）の電源は、本製品の電源を切ったあとに切ってください。
- 本製品や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。

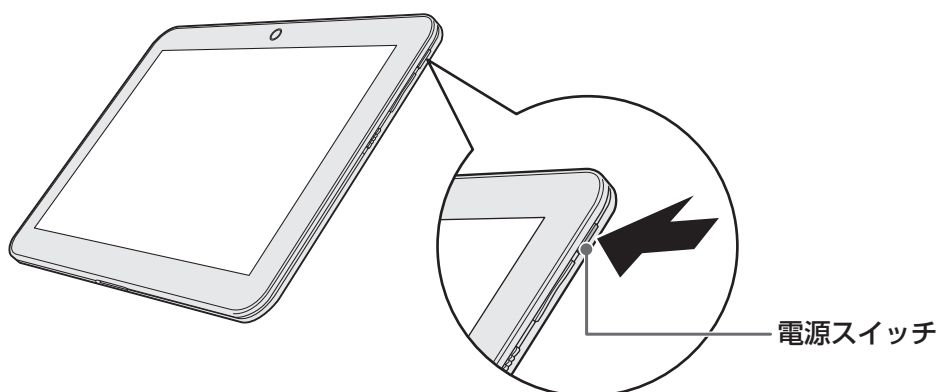
3 電源を入れる

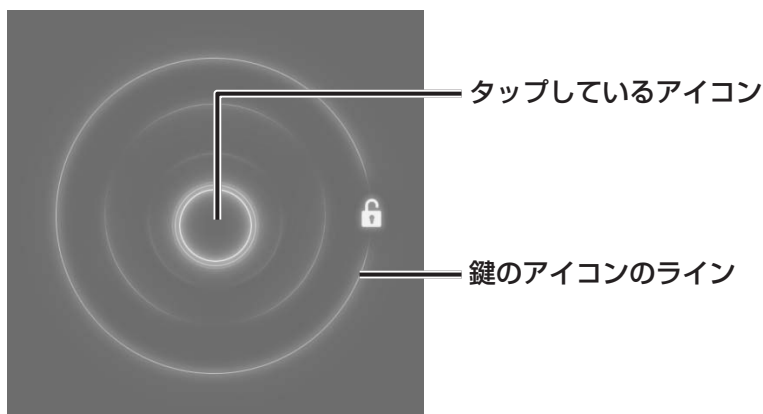
セットアップを終えたあとは、次の手順で電源を入れます。

お願い 電源を入れる前に

- 各スロットに記録メディアなどをセットしている場合は取り出してください。
- 電源を入れる必要がある周辺機器を接続している場合は、本製品より先に周辺機器の電源を入れてください。

1 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。

本製品が起動します。

ホーム画面が表示されず、画面に鍵のアイコン（ ）が表示された場合は、アイコンをタップしてください。
タップしているアイコンが○に変わり、右側に鍵のアイコンが表示されます。○のアイコンを鍵のアイコンのラインまでドラッグしてください。

電源とバッテリーに関する表示

電源とバッテリーの状態はインジケーターの点灯状態で確認することができます。
電源とバッテリーの状態をインジケーターで確認するためには、あらかじめ電源/バッテリモードに設定しておく必要があります。電源OFF時には、どのモードに設定していても、インジケーターは自動的に電源/バッテリモードになります。

参照 電源/バッテリモード『オンラインマニュアル 2章 7 インジケーター』

点灯状態	本製品の状態
白色に点灯	バッテリー充電中
消灯	電源に接続していないとき、またはバッテリー充電完了

＊電源に関するトラブルについては、「5章 2 Q&A集」を参照してください。

メモ

- しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作してサスペンド状態となったためで、故障ではありません。
  サスペンド状態から復帰するには、電源スイッチを押してください。

6 REGZA Tabletを使おう

1 本製品の画面

本製品の画面は３つのエリアで構成されています。

ボタンエリア
検索やアプリケーションの一覧、「ホーム画面」を設定するためのボタンが用意されています。

（表示例）

デスクトップエリア
アプリケーションの画面が表示されます。アプリケーションを表示していないときは、壁紙、ウィジェット、ショートカットアイコンなどが表示されます。

ステータスバーエリア
バッテリー残量や無線LANへの接続状況など本製品の現在の状態が表示されます。

メモ

- 上の画面は、本製品を起動後、すぐに表示される画面です。
  この画面のことを「ホーム画面」と呼びます。

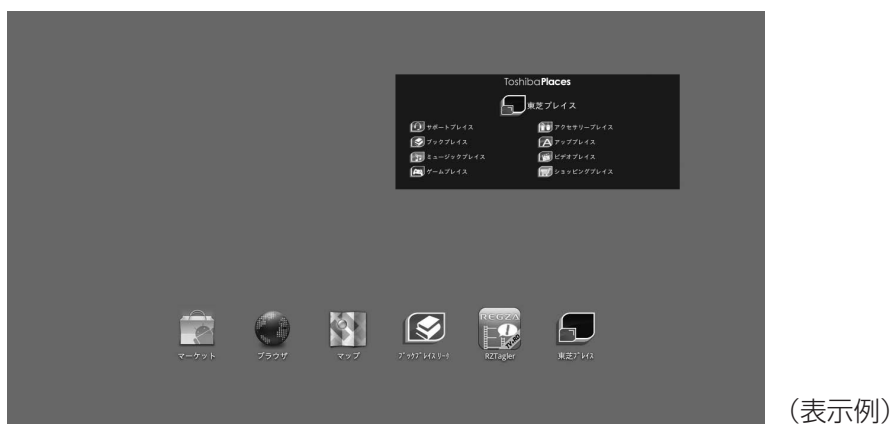
1 ボタンエリア

（表示例）

［Google検索］、［Google音声検索™］、［アプリケーションメニュー］、［カスタム］などのボタンがあります。

- **［Google検索］ボタン（ ）**
  検索画面が表示されます。
- **［Google音声検索™］ボタン（ ）**
  ［Google音声検索™］画面が表示されます。
- **［アプリ］ボタン（ アプリ ）**
  アプリケーションの一覧が表示される［アプリケーションメニュー］画面が表示されます。
- **［カスタム］ボタン（ ）**
  ［カスタム］画面が表示されます。
  ［カスタム］画面では､｢ホーム画面｣にアプリケーションなどのショートカットを作成したり、壁紙を設定できます。
- **［サブメニュー］アイコン（ ）**
  一部のアプリケーションの起動中に表示されます。
  タップすると、アプリケーションのサブメニューを表示します。

2 デスクトップエリア

（表示例）

アプリケーションの画面が表示されます。
アプリケーションを表示していないときは、壁紙とウィジェットが表示されます。
よく使うアプリケーションのショートカットを置いておくこともできます。
デスクトップエリアはお好みに合わせてカスタマイズできます。

3 ステータスバーエリア

（表示例）

ステータスバーエリアには、次のアイコンが表示されます。
ここでは、おもなアイコンについて説明します。
アイコンの種類や表示は、本製品の状態や内容によって異なります。

- **[戻る］アイコン（ ）**
  タップすると、ひとつ前の画面に戻ります。
- **[隠す］アイコン（ ）**
  タップすると、メニューやキーボードなどを非表示の状態にします。
- **[HOME］アイコン（ ）**
  タップすると、ホーム画面を表示します。
- **[Recent Apps］アイコン（ ）**
  最近起動したアプリケーションを起動します。
- **[サブメニュー］アイコン（ ）**
  一部のアプリケーションの起動中に表示されます。
  タップすると、アプリケーションのサブメニューを表示します。
- **システムバー**

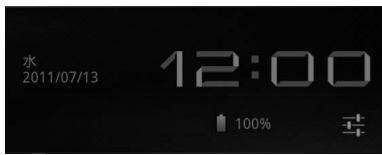
（表示例）

現在の本製品の状態が表示されます。
状態やバッテリー残量により、アイコンの表示が何段階かに分かれます。

アイコン名	アイコン	意味
無線LAN（Wi-Fi）		無線LANがONになっているとアイコンが表示されます。 無線LANで機器が接続されているとアイコンが点灯します。
Bluetooth		BluetoothがONになっているとアイコンが表示されます。 Bluetoothで機器が接続されているとアイコンが青色になります。
機内モード		機内モードが設定されている状態。
バッテリー		バッテリー残量が極めて少なく、充電が必要な状態。
		バッテリーの一部が使用されている状態。
		バッテリーがフル充電されている状態。
		バッテリーを充電中の状態。

また、システムバーをタップすると、詳細な説明が表示されます。
さらにタップすると、［クイック設定］メニューが表示されます。

● **システムバーの詳細表示**

● **［クイック設定］メニュー**

（表示例）

［クイック設定］メニュー

［クイック設定］メニューでは、次の項目を設定できます。

- 機内モード
- Wi-Fi（無線LAN機能）
- 自動回転画面
- 画面の輝度＊1
- 通知

また、［設定］をタップすると、［設定］画面が表示されます。

＊1 購入時は、画面の明るさを自動調整する機能が有効に設定されています。

2 本製品の基本操作

項目、アイコンを選択する

設定項目やアプリケーションのアイコンを選択する方法は、次のとおりです。

1 目的の項目やアイコンが表示されていない場合は、画面に指を置き、スワイプ／スライドする

画面がスクロールします。

2 目的の項目やアイコンをタップする

項目が確定します。アプリケーションのアイコンを選択していた場合は、アプリケーションが起動します。

画面の表示領域を動かす

画面の表示領域は、次の方法で動かせます。

- 画面に指を置き、スワイプ／スライドする
- マウスを使用する場合は、デスクトップエリアの任意の位置をクリックしたまま、マウスを動かす

なお、デスクトップエリアの表示領域は5つ用意されており、これらの方法で切り替えることができます。

［カスタム］画面で設定する

［カスタム］ボタンをタップすると、［カスタム］画面が表示され、次の操作ができます。

アイコン	機能
[ウィジェット]	デスクトップエリアにウィジェットを追加できます。
[アプリのショートカット]	デスクトップエリアにアプリケーションのショートカットを追加できます。
[壁紙]	デスクトップエリアの壁紙を変更できます。
[その他]	デスクトップエリアに一部の機能のショートカットを追加できます。

また、ホーム画面のデスクトップエリアの何もないところで、タップ アンド ホールドすると［カスタム］画面が表示されます。

アプリケーションを起動する

アプリケーションを起動する方法は、次のとおりです。

1 ［アプリ］ボタン（ アプリ ）をタップする

［アプリケーションメニュー］画面が表示されます。

2 起動したいアプリケーションのアイコンをタップする

アプリケーションが起動します。

デスクトップエリアのショートカットをタップしても、起動することができます。

アプリケーションを見えなくする

現在表示されているアプリケーションを見えなくする方法は、次のとおりです。

1 ［HOME］ボタン（ ）をタップする

アプリケーションの画面が消えます。

メモ

- アプリケーションによっては、画面からアプリケーションを見えなくするボタンが用意されているものもあります。

アプリケーションのサブメニューを表示する

アプリケーションのサブメニューを表示する方法は、次のとおりです。
サブメニューが有効な場合のみ、操作できます。

■ボタンエリアに［サブメニュー］ボタンがある場合

1 アプリケーション実行中に、［サブメニュー］ボタン（ ）をタップする

■ステータスバーエリアに［サブメニュー］ボタンがある場合

1 アプリケーション実行中に、［サブメニュー］ボタン（ ）をタップする

アイコンのサブメニューを表示する

アイコンのサブメニューを表示する方法は、次のとおりです。
サブメニューが有効な場合のみ、操作できます。

1 対象のアイコンまたは項目をタップ アンド ホールドする

最近使ったアプリケーションを開く

最近使ったアプリケーションを開く方法は、次のとおりです。

1 ［Recent Apps］ボタン（ ）をタップする

前の画面に戻る

操作を行っていて、前の画面に戻りたくなった場合の手順は、次のとおりです。

1 ［戻る］ボタン（ ）をタップする

1つ前の画面に戻ります。［戻る］ボタン（ ）をタップするたびに1つ前の画面に戻ります。目的の画面に戻るまで、［戻る］ボタン（ ）をタップします。

デスクトップエリアのショートカットやウィジェットを消す

ショートカットや起動したウィジェットを画面から消したい場合の手順は、次のとおりです。

1 消したいショートカットやウィジェットのアイコンをタップ アンド ホールドし、そのまま削除アイコンにドラッグする

アイコンをタップ アンド ホールドすると、ボタンエリアに削除アイコンが表示されます。削除アイコンへドラッグすると、選択したショートカットやウィジェットが画面から消えます。

3 文字を入力するには

本製品で文字を入力するには、画面上に表示されるキーボードをタップします。
購入時の状態で、画面上に表示されるキーボードは、次の2種類があります。

- **Androidキーボードを使用する**
  半角の英数字、記号のみを入力できます。
  日本語入力には対応していません。
- **FSKARENを使用する**
  半角／全角の英数字、記号を入力できます。
  日本語入力にも対応しています。

メモ

- 購入時の状態では、FSKARENが有効となっています。

1 キーボードを使用する

キーボードで入力する方法は次のとおりです。

ここでは、［検索］画面で、Androidキーボードの場合を例にして説明します。［検索］画面を起動するには、「ホーム画面」で［Google検索］ボタンをタップしてください。

1 ボタンエリアの［Google検索］ボタン（ Google ）をタップする

入力するエリアに「｜」（カーソル）、画面下側にキーボードが表示されます。

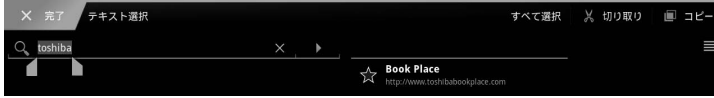
2 キーボードの入力したい文字をタップする

入力エリアに入力した文字が表示されます。

2 テキストのコピーと貼り付けについて

テキストのコピーまたは切り取りを行う

1 コピーしたい文字をタップ アンド ホールドする

［テキスト選択］メニューが表示されます。

2 選択範囲をつまみで調整する、または［すべて選択］をタップする

つまみをドラッグすることでコピーする範囲を調整できます。
［すべて選択］をタップすると、すべてのテキストを選択します。

3 ［コピー］または［切り取り］をタップする

テキストのコピー、または切り取りを行います。

テキストの貼り付け

1 貼り付けを行うエリアをタップ アンド ホールドする

［貼り付け］が表示されます。

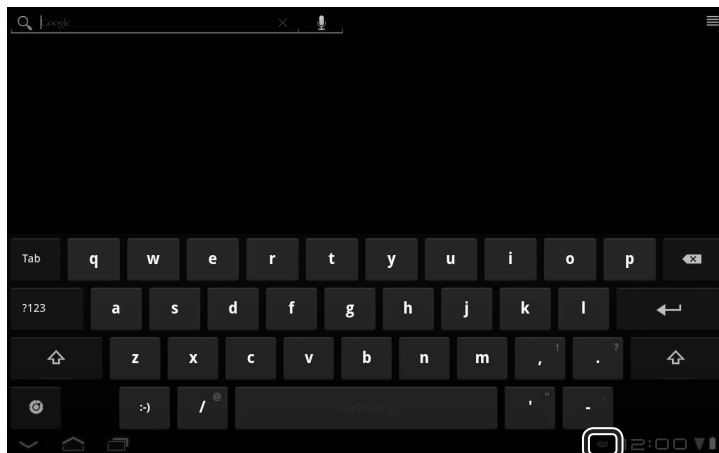
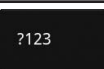
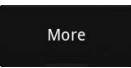
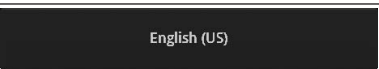
入力するエリアにテキストがある場合、テキストをタップ アンド ホールドすると、［テキスト選択メニュー］が表示されます。この場合、選択範囲を上書きして、貼り付けます。

2 ［貼り付け］をタップする

つまみで貼り付けを行う位置を調整することができます。

3 入力方法を選択する

「Androidキーボード」と「FSKAREN」のどちらを使用して入力するか、選択する方法を説明します。

1 ステータスバーエリアに表示される［入力方法の設定］ボタン（ ）をタップする

［入力方法の設定］画面が表示されます。

2 入力方法を選択する

選択した入力方法での入力が可能になります。

4 Androidキーボードのキー一覧

キー	機能
?123	数字／記号入力用のキーボードに切り替えます。
ABC	英字入力用のキーボードに切り替えます。
⇧	大文字入力と小文字入力を切り替えます。 矢印が白：大文字を入力できる状態です。 矢印が黒：小文字を入力できる状態です。
More	数字メインのキーボードと、記号メインのキーボードを切り替えます。
English (US)	空白を入力します。
⌫	カーソルの１つ左の文字を削除します。
↵	入力内容や操作を実行します。 キー表記が「完了」の場合は操作を完了し、「次へ」の場合は次の項目を表示します。

メモ

- このほかの入力方法の詳細を設定したい場合は、［アプリ］ボタン→［設定］→［言語と入力］→［入力方法の設定］より、「Androidキーボード」の項目を設定できます。

4 FSKARENを使用する

1 FSKARENのキーボード

FSKARENでは、表示するキーボードを次のように切り替えることができます。

- 10キー
- QWERTY
- 手書き

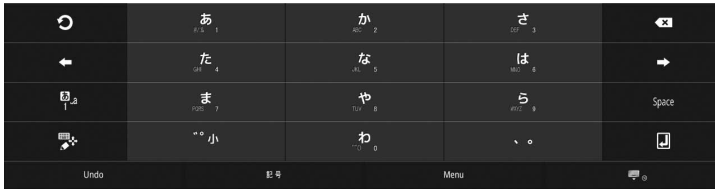
キーボードの切り替えは、キーボード内の［キーボード切替］（ ）をタップしてください。次の順番で、使用できるキーボードが切り替わります。

キーボードは、［アプリ］ボタン→［設定］→［言語と入力］→［入力方法の設定］にある「FSKAREN」の［設定］→［キーボード設定］→［キーボードタイプ］から切り替えることもできます。
それぞれのキーボードでのキー操作については、以降の説明を参照してください。

全キーボードに共通のキーについて

キー	機能
⌫	カーソルの１つ左の文字を削除します。
←	左方向にカーソルを移動します。 候補選択時は、現在選択している項目の１つ左の候補を選択します。
→	右方向にカーソルを移動します。 候補選択時は、現在選択している項目の１つ右の候補を選択します。
Space	空白を入力します。
	使用するキーボードを切り替えます。 タップするごとに、10キー→QWERTY→手書き…の順に切り替えることができます。 タップ アンド ホールドで、キーボードの一覧を表示します。
	改行します。 文字入力中は入力中の文字を確定し、候補選択中は選択中の候補を確定します。
Undo	確定した文字列の変換をやり直します。
記号	記号を入力します。
Menu	機能メニューを表示します。 また、記号、絵文字、定型文を選択して、入力できます。
	キーボードの表示を消します。再びキーボードを表示したいときは、入力エリアをタップしてください。キーボードアイコンの右側には、選択中のパーソナルモードが表示されています。

10キーキーボード

携帯電話と同様の入力方法で文字を入力できます。

＊ 入力状態によって、一部のキーに表示される内容はかわります。

キー	機能
10キー（文字キー）	キーをタップするごとに、キーに表示されている文字の行を順番に入力します。
	入力中の文字を、割り当てられている１つ前の文字に戻します。
あ a 1	使用する文字種を切り替えます。 タップするごとに、ひらがな→半角英数→数字…の順に切り替えることができます。 タップ アンド ホールドで、文字種一覧を表示します。
゛゜小 A a	直前に入力した文字の大文字／小文字を切り替えます。 文字種が日本語の場合、濁点などを付けることもでき、キーをタップするごとに、濁点→半濁点→小文字→大文字→濁点…の順に切り替えることができます。

QWERTYキーボード

＊ 入力状態によって、一部のキーに表示される内容は変わります。

キー	機能
文字キー	キーに表示されているアルファベットを入力します。 文字種がひらがな、全角カタカナ、半角カタカナの場合は、ローマ字かな入力方式でそれぞれの文字を入力します。
Shift	Shiftの状態をOFFからONに切り替えます。
Shift	Shiftの状態をONからOFFに切り替えます。
あ 1 a	使用する文字種を切り替えます。 タップするごとに、ひらがな→半角英数→数字…の順に切り替えることができます。 タップ アンド ホールドで、文字種一覧を表示します。
Alt	キーボードの文字種が数字のとき、表示されます。 タップすると、キーボードの文字種が記号になります。

手書きキーボード

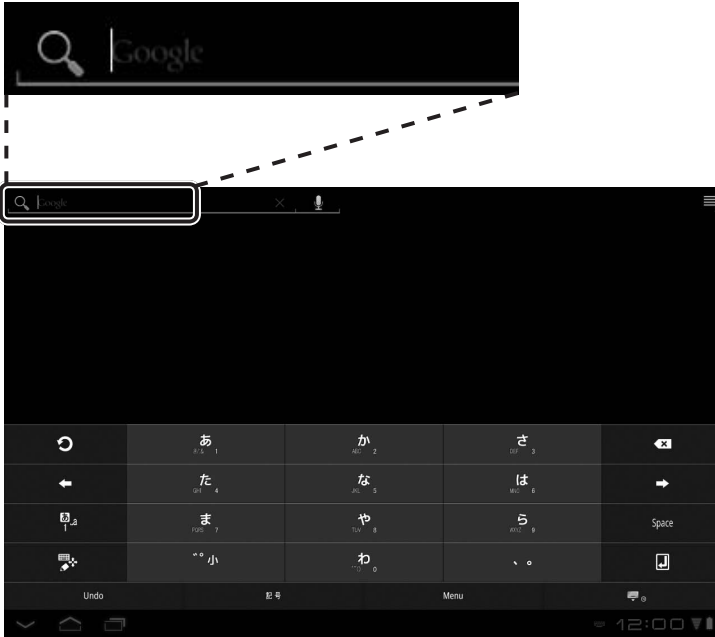
＊ 入力状態によって、一部のキーに表示される内容は変わります。

キー	機能
認識文字候補	黒い四角に手書きで入力した文字を認識し、候補の文字群を表示します。表示された文字をタップして入力できます。
自動確定 ON / OFF	手書き文字入力の自動確定機能をOFFからONに切り替えます。
自動確定 ON / OFF	手書き文字入力の自動確定機能をONからOFFに切り替えます。
認識モード 記号	認識モードを切り替えます。 （選択している認識モードによって、キーに表示される内容は変わります。） タップ アンド ホールドで、認識モード一覧を表示します。
一筆戻る	手書き入力中の文字を一筆戻します。 タップ アンド ホールドすると、手書き入力中の文字をクリアします。

2 FSKARENで文字を入力する

FSKARENで文字を入力する方法は次のとおりです。
ここでは、QWERTYキーボードを使用する場合を例にして入力方法を説明します。
入力する文字の種類を選択してから入力します。

1 文字を入力するエリアをタップする

入力するエリアに「｜」（カーソル）が表示されます。

2 キーをタップ アンド ホールドする

入力する文字種を指定する画面が表示されます。

メモ

- 現在の入力する文字種は キー（10キーおよびQWERTYキーボード）または キー（手書きキーボード）で確認してください。

3 入力する文字種のボタンをタップする

各ボタンと入力できる文字種の関係は次のとおりです。

ボタン	入力できる文字種
ひらがな	ひらがなや漢字を入力できます。
半角カタカナ	半角のカタカナを入力できます。
全角カタカナ	全角のカタカナを入力できます。
数字	数字を入力できます。
半角英数	半角のアルファベットを入力できます。
全角英数	全角のアルファベットを入力できます。
ノーマル （ノーマルモード）	パーソナルモードを指定できます。 パーソナルモードを指定することで、モードに合った近似予測変換、連携予測変換の候補を表示することができます。
男性 （プライベートモード・男性）	
女性 （プライベートモード・女性）	
ビジネス （ビジネスモード）	
閉じる	文字種を指定する画面を閉じて、入力画面に戻ります。

入力画面に戻ります。

4 文字を入力する

1文字入力するたびに、変換の予測候補が画面中央に表示されます。

5 予測候補から目的の文字を選択する

例として、「東芝」を選択します。

東芝 TOSHIBA ＴＯＳＨＩＢＡ トウシバ とうしば ﾄｳｼﾊﾞ

選択した文字が入力エリアに表示されます。

その他の操作

入力時にキーボードのまわりの各表示をタップすると、次の操作ができます。

表示	機能
▲	画面の下部に、変換文字候補を表示します。
▼	画面の中央に、変換文字候補を表示します。
↵	選択している文字列を確定します。
文節変換	入力中の文字の、文節変換候補を表示します。
文節拡大	変換する文字単位（文節の位置）を、1文字分拡大します。
文節縮小	変換する文字単位（文節の位置）を、1文字分縮小します。
▲	変換文字候補が多数ある場合、現在表示しているページの前のページを表示します。
▼	変換文字候補が多数ある場合、現在表示しているページの次のページを表示します。
かな英数	入力中の文字の、カタカナや英数字の変換文字候補を表示します。
通常入力	入力中の画面に戻ります。

メモ

- このほかの入力方法の詳細を設定したい場合は、［アプリ］ボタン→［設定］→［言語と入力］→［入力方法の設定］より、「FSKAREN」の項目で設定できます。

7 画面で見るマニュアル

本製品の操作説明は、『オンラインマニュアル』（電子マニュアル）にもあります。紙の冊子マニュアルをできるだけ少なくすることによって、少しでも環境保全に役立てるよう、エコ活動を推進しております。

本製品が起動しているときに、『オンラインマニュアル』を画面上で見ることができます。
『オンラインマニュアル』には、本製品の使用方法についての説明がより多く記載されています。
次の操作を行うと、『オンラインマニュアル』が表示されます。

起動方法

1 ［アプリ］ボタン→［Online Manual］（?）をタップする

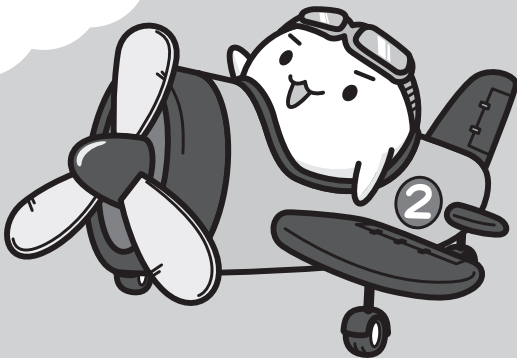
『オンラインマニュアル』が起動します。

メモ

- PDFファイルを表示するアプリケーションの表示モードによっては、正しく表示できない場合があります。その場合は表示モードを変更してください。
- 『REGZA Tabletガイド』の内容も、本製品の画面上で見ることができます。東芝PC総合情報サイト「dynabook.com（http://dynabook.com/pc/）」からダウンロードしてください。

2章

インターネットを快適に利用するために

インターネットを使うための準備と、より安全にインターネットを利用する方法について説明します。

1 インターネットを使うには

本製品では無線LANルーターまたは無線LANアクセスポイントを経由してインターネットに接続します。ホームページを閲覧をするには、インターネットに接続するための設定が必要です。

1 使用するまでの流れ

プロバイダーに加入する
プロバイダーとはインターネット接続の窓口となる会社のことです。会社によって使用料金やサービス内容が異なります。使用できるまでに数日かかる場合があります。

▼

インターネットに接続する
無線LANルーターまたは無線LANアクセスポイントに必要な設定を行います。

▼

ブラウザソフトを用意する
プラットフォーム標準のブラウザでホームページの閲覧ができます。

▼

メールソフトを用意する
メールを使用するには、メールソフトでの設定が必要です。
プラットフォーム標準のメールソフトが使用できます。

2 インターネットへの接続方法

1 プロバイダーから送られてきた機器や説明書をそろえる

2 手順 1 で用意した機器を無線LANルーターまたは無線LANアクセスポイントに接続し、必要な設定を行う

メモ

- 接続に必要な機器や設定方法は、ご加入のプロバイダーによって異なります。プロバイダーとの契約時に送られてきた説明書にしたがって操作してください。

3 本製品を無線LANルーターまたは無線LANアクセスポイントに接続する

参照 接続方法の詳細『オンラインマニュアル』

3 インターネットをより安全に楽しむために

インターネットを利用すると、本製品の画面上でいろいろな情報を見ることができ、大変便利です。しかし、インターネットは、いい情報だけを入手できるとは限りません。また、情報を入手するだけでなく、知らない間にこちらの情報を引き出されてしまうこともあります。
「よくない情報」の代表的なものは、「コンピューターウイルス」です。また、特に気をつけたいものは、インターネットを通じて、こちらの情報（氏名やパスワード、ホームページの閲覧履歴など）を第三者に流出する「スパイウェア」と、閲覧したユーザーに悪影響を与えるおそれのある「有害サイト」です。

ウイルスチェックソフト、スパイウェア対策ソフト、有害サイト閲覧制限ソフトを上手に使って、快適にインターネットを楽しみましょう。
本製品にはウイルス対策ソフトは搭載されていません。別途ご用意ください。

3章

本製品の使用環境を整えよう

この章では、接続できる周辺機器について説明しています。

1 周辺機器を使う前に

周辺機器とは、本製品に接続して使う機器のことです。周辺機器を使うと、本製品の性能を高めたり、本製品が持っていない機能を追加することができます。
周辺機器は、本製品の周囲にあるコネクタや端子、スロットにつなぎます。
本製品のインターフェースに合った周辺機器をご利用ください。
周辺機器によっては、インターフェースなどの規格が異なることがあります。インターフェースとは、機器を接続するときのケーブルやコネクタや端子、スロットの形状などの規格のことです。
購入される際には、目的に合った機能を持ち、本製品に対応している周辺機器をお選びください。
周辺機器が本製品に対応しているかどうかについては、その周辺機器のメーカーに確認してください。

お願い 周辺機器の取り付け／取りはずしにあたって

- あらかじめ、「付録 1 - 3 周辺機器について」を確認してください。
- USB対応機器を使用するには、プラットフォームが対応している必要があります。
- すべてのUSB対応機器の動作確認は行っていません。したがってすべてのUSB対応機器の動作は保証できません。

次の周辺機器が使用できます。
各機器の詳細については、『オンラインマニュアル 4章』を参照してください。

- テレビ
- 外部ディスプレイ
- ヘッドセット
- ヘッドホン
- USB対応機器（USB対応マウス、USB対応キーボード、USBハブ、USBフラッシュメモリ、USB接続型ハードディスク）
- 卓上スタンド2（別売り）

参照 『卓上スタンド2取扱説明書』

メモ

- USB対応機器を接続する場合、microUSBコネクタを変換するケーブルを使用します。

参照 『オンラインマニュアル 4章 4 USB対応機器を使う』

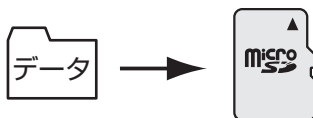
- マウスのホイールは、アプリケーションによって使用できない場合があります。

4章

買ったときの状態に戻すには
ー初期化ー

この章では、本製品の動作がおかしくなり、いろいろなトラブル解消方法では解決できないときに行う「初期化」について説明しています。初期化を行うことでプラットフォームやアプリケーションを購入時の状態に復元できます。作成したデータなどが消去されますので、よく読んでから行ってください。

1 バックアップをとる

保存したファイルやフォルダーを誤って削除してしまったり、トラブルなどによってファイルが使えなくなってしまうことがあります。
このような場合に備えて、あらかじめファイルをmicroSDメモリカードなど、本製品の内蔵フラッシュメモリ以外の記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。

大切なデータは、こまめにバックアップをとってください。
バックアップについての詳しい説明や操作方法については、『オンラインマニュアル』を参照してください。

お願い **バックアップをとるにあたって**

- あらかじめ、「付録 1 - 5 バックアップについて」を参照してください。

2 初期化とは

初期化とは、お客様が購入後にインストールしたアプリケーションや現在の設定などをすべて削除し、もう一度ご購入時の状態に復元する作業です。購入後にお客様が作成したデータも削除されます。

一度初期化を始めると、途中で中止したり、本製品の電源を切ることができません。
時間の余裕をもって行ってください。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときに初期化をしてください。

- 本製品の動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない＊1
- 本製品の調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- 東芝PC あんしんサポートに相談した結果、「初期化が必要」と診断された

＊1 ウイルスチェックソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

メモ

- 初期化は、誰でも実行できます。誤ってほかの人に初期化を実行されないよう、画面ロックによるパターン／PIN／パスワードを設定しておくことをおすすめします。
  パターン／PIN／パスワードを設定した場合は、忘れてしまったときのために必ずパターン／PIN／パスワードを控えてください。

参照 画面ロック『オンラインマニュアル』

参照 パターン／PIN／パスワードを忘れてしまった場合
「5章 2 - 3 - Q 画面ロックのパターン／PIN／パスワードを忘れてしまった」

1 初期化をする前に確認すること

本製品の動作がおかしいと感じたとき､次の方法を実行してみてください。初期化をしなくても､状態が改善される場合があります。次の方法をすべて試してみても状態が改善されない場合に､初期化を実行してください。

周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

購入後に追加で増設した機器が障害の原因となっている場合があります。それらを取りはずしてから、再度起動して、動作を確認してみてください。

参照 機器の取りはずし「3章 本製品の使用環境を整えよう」
『オンラインマニュアル』

ほかのトラブル解消方法を探す

本製品の調子がおかしいと思ったときは、「5章 1 トラブルを解消するまでの流れ」、「5章 2 Q&A集」を確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。
それでも解消できないときに、初期化をしてください。

2 初期化の流れ

初期化をする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

バックアップをとる

参照 「本章 1 バックアップをとる」『オンラインマニュアル』

▼

初期化（画面の指示に従い、本製品のセットアップまで行います）

初期化
参照 「本章 3 初期化をする」

▼

本製品のセットアップ
参照 「1章 4 - 1 - 4 本製品のセットアップ」

▼

初期化したあと、必要に応じて行ってください。

周辺機器の接続
参照 「3章 本製品の使用環境を整えよう」、『オンラインマニュアル』、各機器に付属の説明書

▼

データの復元
参照 「本章 4 - 1 バックアップしておいたデータを復元する」

▼

インターネットやメールの設定を確認する
参照 「2章 1 インターネットを使うには」

▼

プラットフォームおよびアプリケーションのアップデート
参照 「1章 4 - 1 - 5 「TOSHIBA Service Station」について」

3 初期化をはじめる前にしておくこと

初期化をはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

準備するもの

- 『REGZA Tabletガイド』（本書）
- 巻末の初期化チェックシートをコピーしたもの

バックアップをとる

初期化をすると、購入後にインストールしたアプリケーションなどは削除されて、各種設定が購入時の状態に戻ります。また、購入後に作成したデータもすべて消失します。初期化を行う前に必ずバックアップをとってください。

また、初期化したあとも現在と同じ設定で本製品を使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

参照 バックアップについて『オンラインマニュアル』

周辺機器をすべて取りはずす

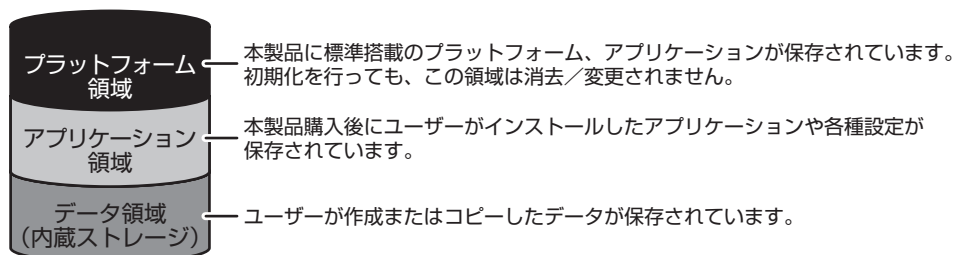
購入後に追加で増設した機器をすべて取りはずしてください。このとき、本製品の電源を切ってから行ってください。

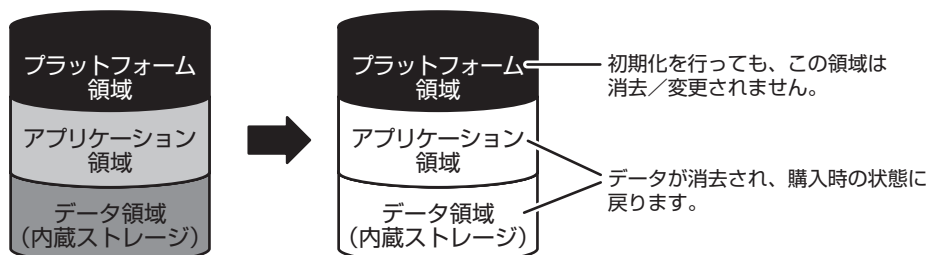
参照 機器の取りはずし「3章 本製品の使用環境を整えよう」
『オンラインマニュアル』

3 初期化をする

本製品に設定されている内容や購入後に追加したアプリケーションを削除し、購入時の状態に戻す方法について説明します。
本製品の初期化は、誰でも実行できます。

1 初期化のしくみ

本製品の内蔵フラッシュメモリ内では、次のようにデータが保存されています。

初期化を行うと、以下のデータが消去され、購入時の状態に戻ります。

- アプリケーション領域が消去される。
- データ領域（購入後にユーザーが作成したデータやほかの機器（パソコン、デジタルカメラ、インターネットのサイトなど）から本製品にコピー、ダウンロードしたデータが保存されている）が消去される。

メモ

- 初期化は、内蔵フラッシュメモリからのみ行えます。次ページの方法で初期化が行えなかった場合は、内蔵フラッシュメモリ内の初期化ツールが壊れている可能性があります。この場合は、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

参照 東芝PCあんしんサポート『サポートガイド』

2 ［データの初期化］を実行する

1 ［アプリ］ボタン→［設定］をタップする

［設定］画面が表示されます。

2 ［バックアップと復元］→［データの初期化］をタップする

3 ［タブレットをリセット］をタップする

4 ［すべて消去］をタップする

初期化が実行されます。初期化実行中を示す画面が表示されますが、本製品のセットアップ画面が表示されるまで、お待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

5 本製品のセットアップを行う

参照 「1章 4 - 1 - 4 本製品のセットアップ」

周辺機器の接続や、購入後に追加したアプリケーションのインストールなどは、本製品のセットアップ後に行ってください。

参照 周辺機器の接続「3章 本製品の使用環境を整えよう」、『オンラインマニュアル』

4 初期化をしたあとは

初期化をしたあとは必要に応じて、バックアップしておいたデータを復元します。

参照 詳細について「本章 2 - 2 初期化の流れ」

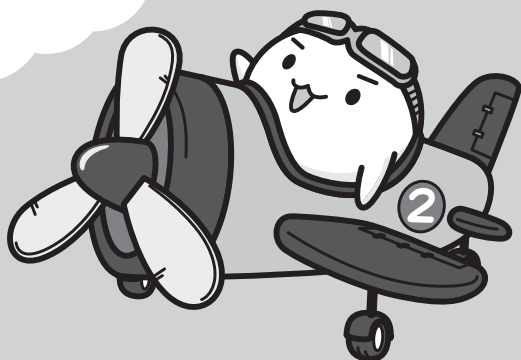
1 バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、外部記録メディアに退避しておいた、すべてのファイルを「TOSHIBA File Manager」で［内蔵ストレージ］フォルダー内にコピーしてください。

参照 詳細について『オンラインマニュアル』

5章

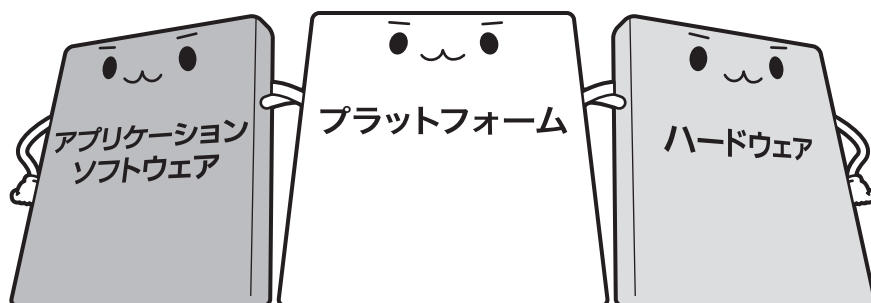
困ったときは

本製品の操作をしていて困ったときに、どうしたら良いかを説明しています。トラブルが起こったときは、あわてずに、この章を読んで、解消方法を探してみてください。
また、本製品を捨てるときや人に譲るときに知っておいて欲しいことを説明しています。

1 トラブルを解消するまでの流れ

本製品に起こったトラブルについて、解決方法を見つけていきましょう。

1 トラブルの原因をつき止めよう

本製品に起こるトラブルは､その原因がどこにあるかによって解決策が異なります。そのために、本製品の構造をある程度知っておくことが必要です。
ここでは、本製品の構成と、それぞれの構成部分で起こるトラブルの例、その解決方法を紹介します。

■本製品を構成する３つの部分

- **アプリケーションソフトウェアとは**
  メールやインターネットは、アプリケーションソフトウェアの機能です。文書作成ソフトや表計算ソフト、ウイルスチェックソフトもアプリケーションソフトウェアの代表的なものです。それぞれ製造元が異なります。
- **プラットフォームとは**
  本製品を動かすための基本的な環境を指します。
- **ハードウェアとは**
  バッテリー、ACアダプター、ディスプレイ、内蔵フラッシュメモリ、CPUなど、本製品の本体を指します。

本製品はこれらの高度な技術の集合体です。トラブルの原因がそれぞれの製造元にしかわからない場合も多くあります。トラブルの症状に合わせた対処をすることが解決への早道です。
トラブルの解決には、最初に原因の切り分けを行います。一般的にはアプリケーションソフトウェア→プラットフォーム→ハードウェア（本製品の本体）の順にチェックします。

STEP1 アプリケーションソフトウェアに原因がある場合

トラブル

例1： メールやインターネットがつながらない

アクセスポイントやメールサーバー、ID、パスワードなどの設定を確認します。これらの設定は契約プロバイダーごとに異なります。契約プロバイダーから指定された設定データが正しく本製品の設定に反映されているかを確認してください。

解消法

例1： プロバイダーへのお問い合わせについて

お客様ご契約のプロバイダーの窓口へお問い合わせください。

トラブル

例2： アプリケーションの使いかたがわからない

各アプリケーションのヘルプなどで使いかたを確認します。

解消法

例2： アプリケーションの使いかたについて

各アプリケーションのヘルプで操作方法を確認したり、各アプリケーションのサポート窓口へお問い合わせください。

参照 アプリケーションのお問い合わせ先
「本章 4 お問い合わせ先」

STEP2 プラットフォームに原因がある場合

トラブル

例3： 正常に画面が表示されない、音が出ない、設定が合っているのにインターネットにつながらない

解消法

例3： 動作に影響を与えているアプリケーションや周辺機器を調べる

周辺機器やソフトをインストールしたあとに起こることが多いものです。その前に行った作業を一度元に戻すことでトラブルが解消される場合が少なくありません。
周辺機器を取りはずしたり、電源を入れ直すことで調べることができます。

例3： 初期化をする

各種設定や購入後に追加したアプリケーションが壊れている可能性があります。
初期化を行うことにより、これらを削除することができます。

それでもトラブルが解消しない場合には、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

参照 『サポートガイド』

STEP3 ハードウェア（本製品の本体）に原因がある場合

トラブル

例4： **初期化しても機器が動かない**

解消法

例4： **問い合わせる**

東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

参照 『サポートガイド』

周辺機器が動作しない場合は、各周辺機器のサポート窓口へお問い合わせください。

例5： **本製品がまったく動作しない**

トラブルが解消しない、あるいはまったく本製品が動作しない場合は、本製品の本体が故障している可能性があります。
本製品の操作について困ったときや、修理のご依頼は東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

参照 『サポートガイド』

2 トラブル対処法

トラブルが発生したときの解決手順を紹介します。

STEP1 本書の「Q&A集」から探す

本書では、トラブルの解決方法をQ&A形式で説明しています。

参照 「本章 2 Q&A集」

STEP2『オンラインマニュアル』を読む

本製品には『REGZA Tabletガイド』（本書）と『オンラインマニュアル』があります。『オンラインマニュアル』も読んでください。
『オンラインマニュアル』は、本製品の電源を入れた状態で、［アプリ］ボタン→［Online Manual］（ ? ）をタップすると起動できます。

STEP3 サポートのサイトで調べる

インターネットに接続している場合は、次のサポートサイトをご覧ください。

http://dynabook.com/assistpc/tab/index_j.htm

本製品の「サポート情報」Webページでは、よくある質問（FAQ）や問い合わせ先、修理のご依頼など、本製品のご使用にあたってのサービス・サポート情報をご提供しています。

参照 詳細について『サポートガイド』

STEP4 それでもトラブルが解決しない場合は問い合わせる

- **プラットフォームや本製品の本体のトラブルの場合**
  『サポートガイド』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートにご連絡ください。
- **アプリケーションのトラブルの場合**
  本製品に用意されているアプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照 アプリケーションのお問い合わせ先「本章 4 お問い合わせ先」

- **周辺機器のトラブルの場合**
  各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照 周辺機器のお問い合わせ先 『周辺機器に付属の説明書』

2 Q&A集

ここに掲載しているQ&A集のほかに、『オンラインマニュアル』にもQ&A集があります。

役立つ操作集

『オンラインマニュアル』の「Q&A集」を見てみよう

本書のQ&A集を見ても知りたいことが見つからない場合は、本製品で『オンラインマニュアル』の「Q&A集」を見てみましょう。
インターネットに接続しなくても閲覧できるため、操作も簡単です。

① ［アプリ］ボタン→［Online Manual］（ ? ）をタップする
　『オンラインマニュアル』が起動します。

もくじで「Q&A集」のページを確認し、移動してください。

1 電源を入れるとき／切るとき

Q 電源スイッチを押して指をはなしても、画面が表示されない

A 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。
確実に電源スイッチを押してください。

Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう 電源が入らない

A バッテリーの充電量が少ない可能性があります。
本製品用のACアダプターまたは電源コードを接続して、バッテリーを充電してください（他製品用のACアダプターや電源コードは使用できません）。

参照 バッテリーの充電について『オンラインマニュアル』

A 本製品内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、本製品が自動的に停止します。
本製品が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、本製品の内部温度が下がるのを待ってください。

A 本製品から、いったん電源コードとACアダプターをすべて取りはずしてください。

■電源コードとACアダプターを接続している場合

①電源コードとAC アダプターを取りはずす
本製品に接続している周辺機器も取りはずしてください。
②電源コードとAC アダプターを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む
③電源スイッチを押し、指をはなす
確実に電源スイッチを押してください。

参照 電源コードとACアダプターの接続
「1章 4 - 1 - 2 - 電源コードとACアダプターを接続する」

■電源コードとパソコンを接続している場合

①電源コードを取りはずす
本製品に接続している周辺機器も取りはずしてください。
②電源コードを取り付けて、プラグをパソコン本体のUSBコネクタに差し込む
③電源スイッチを押し、指をはなす
確実に電源スイッチを押してください。

参照 電源コードとパソコンの接続
「1章 4 - 1 - 2 - 電源コードとパソコンを接続する」

以上の手順でも解決できない場合は、東芝PC あんしんサポートに連絡してください。

Q 電源を入れたが、本製品が起動しない

A 各種設定が壊れている可能性があります。

本製品が起動しない場合は、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

参照 『サポートガイド』

Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある

A 本製品内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、本製品が自動的に停止します。

本製品が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、本製品の内部温度が下がるのを待ってください。
それでも電源が切れる場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A バッテリー駆動で使用している場合、バッテリーの充電量がなくなった可能性があります。

本製品用のACアダプターまたは電源コードを接続して、バッテリーを充電してください（他製品用のACアダプターや電源コードは使用できません）。

参照 バッテリーの充電について『オンラインマニュアル』

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

A 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作してサスペンド状態となったためで、故障ではありません。実際には電源が入っています。
電源スイッチを押すと表示が復帰します。
テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

2 画面／表示

Q しばらく放置したら、画面が真っ暗になった

A 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作してサスペンド状態となったためで、故障ではありません。実際には電源が入っています。
電源スイッチを押すと表示が復帰します。
テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

Q 画面が薄暗く、よく見えない

A 画面の明るさが自動調整された可能性があります。

購入時は、画面の明るさ（輝度）を自動調整する機能が有効に設定されています。
［アプリ］ボタン→［設定］→［画面］→［画面の明るさ］で輝度の自動調整を無効にすると、画面を任意の明るさに調整できます＊1。

＊1 この設定は、テレビと外部ディスプレイには反映されません。

参照 『オンラインマニュアル 2章 2 - 2 画面の明るさを調整する』

A 照度センサーをふさいでいないかどうか確認してください。

照度センサーを指でふさいだり、照度センサーの上にシールなどを貼り付けたりしていないことを確認してください。
画面の明るさを自動調整する機能が有効に設定されている場合、照度センサーをふさいでいると、画面が薄暗くなることがあります。

参照 照度センサー「1章 2 各部の名称」

参照 『オンラインマニュアル 2章 2 - 2 画面の明るさを調整する』

Q 画面が回転する／回転しない

A 購入時は、手に持っているときの角度に合わせて画面表示が回転する機能が有効に設定されています。

マルチファンクションスイッチで、画面の向きを切り替えず、固定の状態で使えるように設定することもできます。

参照 画面の向きを設定する『オンラインマニュアル』

3 プラットフォーム／内蔵フラッシュメモリ

Q 画面ロックのパターン／PIN／パスワードを忘れてしまった

A 画面ロックのパターン／PIN／パスワードを忘れてしまって、パターン／PIN／パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

有料にてパターン／PIN／パスワードを解除いたします。

その際、本製品を購入後にインストールしたアプリケーションや各種設定と、［内蔵ストレージ］フォルダー（データ領域）に作成したデータはすべて消失します。

ご依頼にあたって、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 本製品が応答しなくなった

A いったん電源を切り、本製品を起動しなおしてください。

A 本製品の起動時に問題が起きた場合は、以下の手順を実行し、強制終了してください。

本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、サスペンドは無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

①電源ボタンを10秒以上押す
　本製品が強制終了されます。

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本項 - Q 電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q　電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

A　プラットフォームのアップデート中（更新中）にトラブルが発生した場合は、初期化を実行し、いったん購入時の状態に戻してください。その後アップデートを実行してください。

A　アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションがプラットフォームに影響している可能性があります。

アプリケーションをアンインストールしてください。

参照　アンインストール『アプリケーションに付属の説明書』

A　周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器がプラットフォームに影響している可能性があります。

周辺機器を取りはずしてください。

参照　周辺機器の取り扱いについて『周辺機器に付属の説明書』

4 操作／取り扱い

Q　操作しても反応がない

A　プラットフォームが処理中の可能性があります。

プラットフォームが処理をしている状態のため、操作を受け付けないときがあります。プラットフォームの処理が終わるまで待ってから操作してください。

Q　本製品に飲み物をこぼしてしまった

A　飲み物など液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。

もし、液体が本製品内部に入ったときは、ただちに電源を切り、ACアダプターや電源コードを取りはずして、東芝PCあんしんサポートにご相談ください。

5 メッセージ

Q メッセージが表示された

A 使用しているプラットフォームやアプリケーションの説明書を確認してください。

6 その他

Q 初期化できなくなったときは

A **内蔵フラッシュメモリに搭載されている初期化ツールのデータが破損している可能性があります。**

東芝PCあんしんサポートに相談してください。

参照 修理のお問い合わせについて『サポートガイド』

Q 異常なにおいや過熱に気づいた！

A **本製品、周辺機器の電源を切り、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取りはずしてください。また、東芝PCあんしんサポートに相談してください。**

なお、連絡の際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

参照 修理のお問い合わせについて『サポートガイド』

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A 「トラブル対処法」を確認してください。

本書の「トラブル対処法」では、トラブルを解決するための対処手順を説明しています。ご確認ください。

参照 「本章 1 - 2 トラブル対処法」

A プラットフォームや本製品の本体のトラブルの場合は、『サポートガイド』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A アプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照 アプリケーションのお問い合わせ先「本章 4 お問い合わせ先」

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属の説明書』

3 捨てるとき／人に譲るとき

1 お客様登録の削除について

● **ホームページから削除する**

東芝ID（TID）をお持ちの場合はこちらからお願いします。

①インターネットで「http://toshibadirect.jp/room1048/」へ接続する
②ページ右の［ログイン］をタップする
［ログイン］画面が表示されます。
③［東芝ID（TID）］と［パスワード］に入力し、［ログイン］ボタンをタップする
マイページが表示されます。
④ページ右下の［退会］をタップする

※退会ではなく、商品の削除のみのお客様は、マイページの「登録済み商品一覧」で商品削除を行ってください。

※Room1048を退会されますと、「東芝ダイレクト」での購入履歴やRoom1048会員限定サービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

● **電話で削除する**

「東芝ID事務局（お客様情報変更）」までご連絡ください。

● 東芝ID事務局（お客様情報変更）
TEL　：0570-09-1048（ナビダイヤル）
受付時間：10:00～17:00（土・日、祝日、東芝特別休日を除く）

紹介しているホームページや電話番号は、お客様登録の内容変更や削除に関するお問い合わせ窓口です。
技術的なご相談や修理に関するお問い合わせは、『サポートガイド』を確認してください。

また廃棄に関しては、『サポートガイド』を参照してください。

2 本製品を購入時の状態に戻す

廃棄／譲渡する前に、本製品を購入時の状態に戻したい場合は、［アプリ］ボタン→［設定］→［バックアップと復元］→［データの初期化］→［タブレットをリセット］→［すべて消去］をタップして、初期化を実行してください。

参照 詳細について「4章 3 - 2 ［データの初期化］を実行する」

4 お問い合わせ先 −プラットフォーム／アプリケーション−

本製品に用意されているプラットフォーム、アプリケーションのお問い合わせ先を紹介しています。
各アプリケーションを使っていて困ったときは、こちらに連絡してください。

**＊2011年9月現在の内容です。
各社の事情で、受付時間などが変更になる場合があります。**

1 プラットフォームのお問い合わせ先

プラットフォームについてのサポート情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://dynabook.com/assistpc/tab/index_j.htm

プラットフォームに関する一般的なお問い合わせは、東芝PCあんしんサポートになります。

2 アプリケーションのお問い合わせ先

各アプリケーションのユーザー登録については、それぞれのお問い合わせ先までお問い合わせください。
インストールされているアプリケーションはご購入のモデルにより異なります。

McAfee Mobile Security（30日体験版）		
マカフィー・テクニカルサポートセンター		
営業時間	：	9:00-21:00（年中無休）
電話番号	：	0570-060-033（ナビダイヤル）
		03-5428-2279（IPフォン・光電話の方はこちらへ）
お問合わせWebフォーム		
	：	http://www.mcafee.com/japan/mcafee/tscontact.asp
チャットサポート	：	http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp

Evernote		
Evernote サポートページ		
ホームページ	：	http://www.evernote.com/about/intl/jp/contact/support/

FSKAREN
富士ソフト株式会社　FSKAREN問合せ窓口
ホームページ　：http://www.fsi.co.jp/karen 上記ホームページ上にある、資料請求・お問合せフォームに必要事項、ご使用されている機器を明記の上、お問い合わせ下さい。

RZタグラー
RDシリーズサポートダイヤル
受付時間　：365日　9:00～18:00（12:30～13:30は休止） ナビダイヤル　：0570-00-0233（通話料有料） （PHS・一部のIP電話などでは、ご利用になれない場合があります。） メールでのお問い合わせ ：https://www.digitaldoors.jp/dvd/form.php 電話でのお問い合わせはRDシリーズサポートダイヤル ：http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/cs/index.html

シンクフリーモバイルオフィス
メールサポート
E-mail　：toshiba.jp@thinkfree.com

ブックプレイスリーダー
株式会社Book Live
ブックプレイスのストアサイトをご確認ください。 ホームページ　：https://toshibabookplace.booklive.jp/ メールによるお問い合わせ ：https://toshibabookplace.booklive.jp/index/contact/ FAQ　：http://toshibabookplace.booklive.jp/index/faq/

その他のアプリケーション

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号　：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）
おかけいただくと、ガイダンスが流れます。ガイダンスに従って操作してください。
技術的な質問、お問い合わせは、ガイダンスの後で 1 をプッシュしてください。

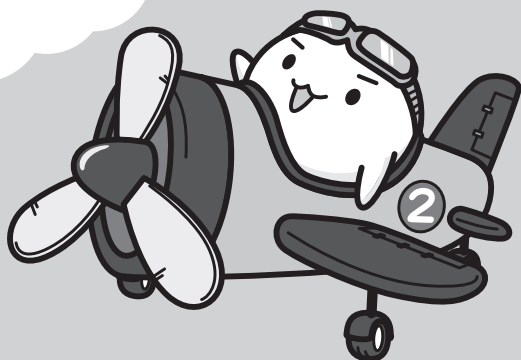
技術相談窓口　受付時間：9:00～19:00（年中無休）
[電話番号はおまちがえないよう、ご確認の上おかけください]

海外からの電話、携帯電話、PHS、または直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。日程は、dynabook.com「サポート情報」（http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm）にてお知らせいたします。

お客様の個人情報の取り扱い全般に関する当社の考えかたをご覧になりたいかたは、（株）東芝の個人情報保護方針のページ（http://www.toshiba.co.jp/privacy/index_j.htm）をご覧ください。

付録

本製品の機能を使用するにあたってのお願いや技術基準適合などについて記しています。

1 ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

1 本製品の本体について

画面の操作にあたって

- 画面を強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。
- 画面上に物を置くなど、同じ位置に外圧を与え続けないでください。
- 画面が割れた場合は、画面を指で触れないでください。
- 画面が汚れた場合は、柔らかくきれいな乾いた布で軽くふきとってください。
- 画面にフィルムなどを貼らないでください。
  正しく操作できないおそれがあります。

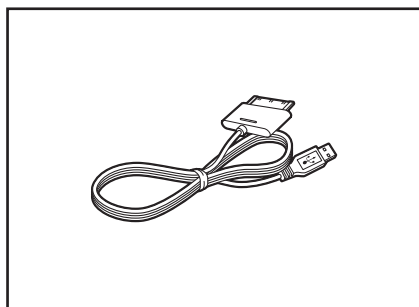
スイッチ／ボタンの操作にあたって

- スイッチ／ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。スイッチ／ボタンが故障するおそれがあります。

機器への強い衝撃や外圧について

- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- 本製品の表面を硬いものでこすると傷がつくことがあります。
  取り扱いにはご注意ください。

2 電源コードの取り扱いについて

- 電源コードは束ねずに、ほどいた状態で使用してください。ご使用時は、あらかじめ『安心してお使いいただくために』に記載されている記述をよく読み、必ず指示を守ってください。
- 電源コードを持ち運ぶときには、次の図のように正しくケーブルを束ねてください。

電源コードは、購入されたモデルにより異なります。

付録

3 周辺機器について

本製品への機器の取り付け／取りはずしについて

- 取り付け／取りはずしの方法は機器によって違います。3章および『オンラインマニュアル』を読んでから作業をしてください。またその際には､次のことを守ってください。守らなかった場合、故障するおそれがあります。
  - ・ホットインサーションに対応していない機器を接続する場合は、必ず本製品の電源を切ってから作業を行ってください。ホットインサーションとは、電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしを行うことです。
  - ・適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
  - ・ほこりが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
  - ・極端に温度や湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
  - ・静電気が発生しやすい環境（乾燥した場所やカーペット敷きの場所など）では作業をしないでください。
  - ・本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
  - ・本製品のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向を合わせてください。
  - ・本製品のコネクタにケーブルを接続した状態で、接続部分に無理な力を加えないでください。

4 画面について

- アプリケーションや各種設定の画面では、画面右隅にスクロールバーが表示されることがありますが、このバーをドラッグして画面を縦方向にスクロールすることはできません。

5 バックアップについて

バックアップをとるにあたって

- 内蔵フラッシュメモリや記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。
  内蔵フラッシュメモリや記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。

2 技術基準適合について

『オンラインマニュアル』にも技術基準適合に関する説明が記載されています。本書だけでなく、『オンラインマニュアル』の記載もあわせてご確認ください。

■瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

■高調波対策について

参照 『オンラインマニュアル』

■電波障害自主規制について

参照 『オンラインマニュアル』

付録

■EU Declaration of Conformity

CE

This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives. Responsible for CE-Marking is TOSHIBA Europe GmbH, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany. The complete and official EU Declaration of Conformity can be found on TOSHIBA's web site
http://epps.toshiba-teg.com on the Internet.

CE compliance

This product is labelled with the CE Mark in accordance with the related European Directives, notably Electromagnetic Compatibility Directive 2004/108/EC for the notebook and the electronic accessories including the supplied power adapter, the Radio Equipment and Telecommunications Terminal Equipment Directive 1999/5/EC in case of implemented telecommunication accessories and the Low Voltage Directive 2006/95/EC for the supplied power adapter. Furthermore the product complies with the Ecodesign Directive 2009/125/EC (ErP) and its related implementing measures.
This product and the original options are designed to observe the related EMC (Electromagnetic Compatibility) and safety standards. However, TOSHIBA cannot guarantee that this product still observes these EMC standards if options or cables not produced by TOSHIBA are connected or implemented. In this case the persons who have connected/implemented those options/cables have to provide assurance that the system (PC plus options/cables) still fulfils the required standards. To avoid general EMC problems, the following guidance should be noted:

- Only CE marked options should be connected/implemented
- Only best shielded cables should be connected

Working environment

This product was designed to fulfil the EMC (Electromagnetic Compatibility) requirements to be observed for so-called “Residential, commercial and light industry environments”. TOSHIBA do not approve the use of this product in working environments other than the above mentioned “Residential, commercial and light industry environments”.
For example, the following environments are not approved:

- Industrial Environments (e.g. environments where a mains voltage of 380 V three-phase is used)
- Medical Environments
- Automotive Environments
- Aircraft Environments

Any consequences resulting from the use of this product in working environments that are not approved are not the responsibility of TOSHIBA.
The consequences of the use of this product in non-approved working environments may be:

- Interference with other devices or machines in the near surrounding area.
- Malfunction of, or data loss from, this product caused by disturbances generated by other devices or machines in the near surrounding area.

Therefore TOSHIBA strongly recommend that the electromagnetic compatibility of this product should be suitably tested in all non-approved working environments before use. In the case of automobiles or aircraft, the manufacturer or airline respectively should be asked for permission before use of this product.

Furthermore, for general safety reasons, the use of this product in environments with explosive atmospheres is not permitted.

3 無線LANについて

1 無線LANの概要

本製品には、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11nのすべて、もしくはその一部に準拠した無線LANモジュールが搭載されています。次の機能をサポートしています。

- 周波数チャネル選択
- マルチチャネル間のローミング
- パワーマネージメント

2 無線特性

無線LANの無線特性は、製品を購入した国／地域、購入した製品の種類により異なる場合があります。
多くの場合、無線通信は使用する国／地域の無線規制の対象になります。無線ネットワーク機器は、無線免許の必要ない2.4GHz帯で動作するように設計されていますが、国／地域の無線規制により無線ネットワーク機器の使用に多くの制限が課される場合があります。

無線周波数帯	IEEE802.11b, IEEE802.11g, IEEE802.11n	2.4GHz（2400-2483MHz）
変調方式	IEEE802.11g	直交周波数分割多重方式 OFDM-BPSK, OFDM-QPSK, OFDM-16QAM, OFDM-64QAM
	IEEE802.11b	直接拡散方式 DSSS-CCK, DSSS-DQPSK, DSSS-DBPSK
	IEEE802.11n	直交周波数分割多重方式（OFDM方式）

無線機器の通信範囲と転送レートには相関関係があります。無線通信の転送レートが低いほど、通信範囲は広くなります。

メモ

- アンテナの近くに金属面や高密度の固体があると、無線機器の通信範囲に影響を及ぼすことがあります。
- 無線信号の伝送路上に無線信号を吸収または反射し得る"障害物"がある場合も、通信範囲に影響を与えます。

3 サポートする周波数帯域

無線LANがサポートする2.4GHz帯のチャネルは、国／地域で適用される無線規制によって異なる場合があります（表「無線IEEE802.11 チャネルセット」参照）。

■無線IEEE802.11 チャネルセット

● 2.4GHz帯：2400-2483MHz（IEEE802.11b/g、IEEE802.11nの場合）

チャネルID	周波数
1	2412
2	2417
3	2422
4	2427
5	2432
6	2437
7	2442
8	2447
9	2452
10	2457＊1
11	2462
12	2467
13	2472

＊1 購入時に、アドホックモード接続時に使用するチャネルとして設定されているチャネルです。

4 本製品を日本でお使いの場合のご注意

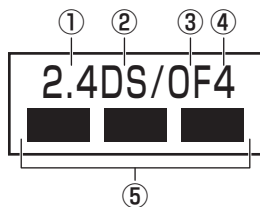
日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は2,400MHz～2,483.5MHzです。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局及び移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯2,427MHz～2,470.75MHzと重複しています。

■ステッカー

本製品を日本国内にてご使用の際には、本製品に付属されている次のステッカーを本製品の本体に貼り付けてください。

> この機器の使用周波数帯は　2.4GHz帯です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
> 1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
> 2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
> 3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

■現品表示

本製品には、次に示す現品表示が記載されています。

① 2.4　：2,400MHz帯を使用する無線設備を表す。
② DS　：変調方式がDS-SS方式であることを示す。
③ OF　：変調方式がOFDM方式であることを示す。
④ 4　：想定される与干渉距離が40m以下であることを示す。
⑤ ■■■：2,400MHz～2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

■東芝PCあんしんサポート

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、『サポートガイド』を参照してください。

付録

5 機器認証表示について

本製品には、電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、認証を受けた無線設備を搭載しています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

無線設備名 ： REGZA Tablet AT700
株式会社　ディーエスピーリサーチ
認証番号　 ： D111202003

本製品に組み込まれた無線設備は、本製品に実装して使用することを前提に、小電力データ通信システムの無線局として工事設計の認証を取得しています。したがって、組み込まれた無線設備をほかの機器へ流用した場合、電波法の規定に抵触するおそれがありますので、十分にご注意ください。

6 お知らせ

無線製品の相互運用性

本製品に搭載されている無線LANモジュールは、Direct Sequence Spread Spectrum（DSSS）／Orthogonal Frequency Division Multiplexing（OFDM）無線技術を使用するあらゆる無線LAN製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Institute of Electrical and Electronics Engineers（米国電気電子技術者協会）策定のIEEE802.11 Standard on Wireless LANs（Revision b/g/n）（無線LAN標準規格（版数 b/g/n））
- Wi-Fi Allianceの定義するWireless Fidelity（Wi-Fi）認証
  Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの認定マークです。

健康への影響

本製品に搭載されている無線LANモジュールは、ほかの無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルにおさえられています。
本製品に搭載されている無線LANモジュールの動作は無線周波に関する安全基準と勧告に記載のガイドラインにそっており、安全にお使いいただけるものと東芝では確信しております。この安全基準および勧告には、学会の共通見解と、多岐にわたる研究報告書を継続的に審査、検討している専門家の委員会による審議結果がまとめられています。
ただし周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者がWireless LANの使用を制限する場合があります。次にその例を示します。

- 飛行機の中でWireless LAN装置を使用する場合
- ほかの装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合

個々の組織または環境（空港など）において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、Wireless LAN装置の電源を入れる前に、個々の組織または施設環境の管理者に対して、本製品の使用可否について確認してください。

規制に関する情報

本製品に搭載されている無線LANモジュールのインストールと使用に際しては、必ず製品付属の説明書に記載されている製造元の指示に従ってください。
本製品は、無線周波基準と安全基準に準拠しています。

付録

●Canada - Industry Canada (IC)

This device complies with RSS 210 of Industry Canada.
Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference , and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of this device.
The term "IC" before the equipment certification number only signifies that the Industry Canada technical specifications were met.

●USA - Federal Communications Commission (FCC)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy. If not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by tuning the equipment off and on, the user is encouraged to try and correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment to outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

TOSHIBA is not responsible for any radio or television interference caused by unauthorized modification of the devices included with this the Wireless LAN, or the substitution or attachment of connecting cables and equipment other than specified by TOSHIBA.
The correction of interference caused by such unauthorized modification, substitution or attachment will be the responsibility of the user.

Caution: Exposure to Radio Frequency Radiation.

The radiated output power of the Wireless LAN is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the Wireless LAN shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized.
In the usual operating configuration, the distance between the antenna and the user should not be less than 20cm. Please refer to the PC user’s manual for the details regarding antenna location.
The installer of this radio equipment must ensure that the antenna is located or pointed such that it does not emit RF field in excess of Health Canada limits for the general population; consult Safety Code 6, obtainable from Health Canada’s website
www.hc-sc.gc.ca/

● Europe

Restrictions for Use of 2.4GHz Frequencies in European Community Countries

België/ Belgique:	For private usage outside buildings across public grounds over less than 300m no special registration with IBPT/BIPT is required. Registration to IBPT/BIPT is required for private usage outside buildings across public grounds over more than 300m. For registration and license please contact IBPT/BIPT.
	Voor privé-gebruik buiten gebouw over publieke groud over afstand kleiner dan 300m geen registratie bij BIPT/IBPT nodig; voor gebruik over afstand groter dan 300m is wel registratie bij BIPT/IBPT nodig. Voor registratie of licentie kunt u contact opnemen met BIPT.
	Dans le cas d'une utilisation privée, à l'extérieur d'un bâtiment, au-dessus d'un espace public, aucun enregistrement n'est nécessaire pour une distance de moins de 300m. Pour une distance supérieure à 300m un enregistrement auprès de I'IBPT est requise. Pour les enregistrements et licences, veuillez contacter I'IBPT.
Deutschland:	License required for outdoor installations. Check with reseller for procedure to follow.
	Anmeldung im Outdoor-Bereich notwendig, aber nicht genehmigungspflichtig. Bitte mit Händler die Vorgehensweise abstimmen.
France:	Restricted frequency band: only channels 1 to 7 (2400 MHz and 2454 MHz respectively) may be used outdoors in France.
	Bande de fréquence restreinte : seuls les canaux 1-7 (2400 et 2454 MHz respectivement) doivent être utilisés endroits extérieur en France. Vous pouvez contacter I'Autorité de Régulation des Télécommuniations (http://www.art-telecom.fr) pour la procédure à suivre.
Italia:	License required for indoor use. Use with outdoor installations not allowed.
	E'necessaria la concessione ministeriale anche per l'uso interno. Verificare con i rivenditori la procedura da seguire.
Nederland	License required for outdoor installations. Check with reseller for procedure to follow.
	Licentie verplicht voor gebruik met buitenantennes. Neem contact op met verkoper voor juiste procedure.

To remain in conformance with European spectrum usage laws for Wireless LAN operation, the above 2.4GHz channel limitations apply for outdoor usage. The user should use the Wireless LAN utility to check the current channel of operation. If operation is occurring outside of the allowable frequencies for outdoor use, as listed above, the user must contact the applicable national spectrum regulator to request a license for outdoor operation.

● Taiwan

Article 12

Without permission granted by the NCC, any company, enterprise, or user is not allowed to change frequency, enhance transmitting power or alter original characteristic as well as performance to an approved low power radio-frequency devices.

Article 14

The low power radio-frequency devices shall not influence aircraft security and interfere legal communications;

If found, the user shall cease operating immediately until no interference is achieved.

The said legal communications means radio communications is operated in compliance with the Telecommunications Act.

The low power radio-frequency devices must be susceptible with the interference from legal communications or ISM radio wave radiated devices.

7 使用できる国／地域について

お願い

- 本製品は、次にあげる国／地域の無線規格を取得しております。これらの国／地域以外では使用できません。

アイスランド	オランダ	チェコ	フランス	リトアニア
アイルランド	キプロス	デンマーク	ベルギー	リヒテンシュタイン
アメリカ合衆国	ギリシャ	ドイツ	ポーランド	ルクセンブルク
イギリス	スイス	日本	ポルトガル	
イタリア	スウェーデン	ノルウェー	マルタ	
エストニア	スペイン	ハンガリー	モナコ	
オーストリア	スロバキア	フィンランド	ラトビア	

（2011年9月現在）

- 802.11nモードではアドホック通信は使用できません。
- アドホック通信でのピアツーピア接続は、Ch1～Ch11で使用できます。
- インフラストラクチャ通信は、Ch1～Ch13で使用できます。

付録

4 Bluetoothについて

1 物理仕様

ワイヤレス通信	通信方式	Bluetooth Specification Ver.2.1+EDR
	無線周波数帯	2.4GHz（2402～2480MHz）
	変調方式	周波数ホッピング方式　2値FSK
	出力＊1	最大＋4dBm（Power Class2）
	受信感度＊1	－70dBm
	通信距離	見通し10m＊2
電源電圧		3.3V
消費電力		最大200mA

＊1 アンテナの効率は含まれません。
＊2 周囲の電波環境、障害物、設置環境などにより異なります。

付録

2 無線特性

Bluetoothモジュールの無線特性は、製品を購入した国、購入した製品の種類により異なる場合があります。
多くの場合、無線通信は国／地域によって使用が規制されています。無線ネットワーク機器は、無線免許の必要ない2.4GHz 帯で動作するように設計されていますが、国／地域の無線規制により無線ネットワーク機器の使用に多くの制限が課される場合があります。
本製品のBluetooth通信機能が使用できる国／地域については、「本節 6 使用できる国／地域について」を確認してください。
無線機器の通信範囲と転送レートには相関関係があります。無線通信の転送レートが低いほど、通信範囲は広くなります。

メモ

- アンテナの近くに金属面や高密度の固体があると、無線機器の通信範囲に影響を及ぼすことがあります。
- 無線信号の伝送路上に無線信号を吸収または反射し得る"障害物"がある場合も、通信範囲に影響を与えます。

3 本製品を日本でお使いの場合のご注意

日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は2,400MHz～2,483.5MHzです。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局及び移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯2,427MHz～2,470.75MHzと重複しています。

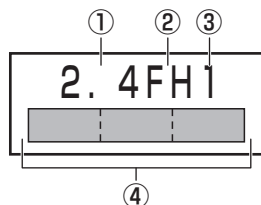
■ステッカー

本製品を日本国内にてご使用の際には、本製品に付属されている次のステッカーを本製品の本体に貼り付けてください。

この機器の使用周波数帯は　2.4GHz帯です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

■現品表示

本製品には、次に示す現品表示が記載されています。

① 2.4　：2,400MHz帯を使用する無線設備を表す。
② FH　：変調方式がFH-SS方式であることを示す。
③ 1　：想定される与干渉距離が10m以下であることを示す。
④ ▭　：2,400MHz～2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

■東芝PCあんしんサポート

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、『サポートガイド』を参照してください。

付録

4 機器認証表示について

本製品は、電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局の端末設備として、技術基準適合認証を受けております。

無線設備名 ： REGZA Tablet AT700
株式会社 ディーエスピーリサーチ
認証番号 ： D111202003

本製品に組み込まれた無線設備は、本製品に実装して使用することを前提に、小電力データ通信システムの無線局として工事設計の認証を取得しています。したがって、組み込まれた無線設備をほかの機器へ流用した場合、電波法の規定に抵触するおそれがありますので、十分にご注意ください。

5 お知らせ

■無線製品の相互運用性

Bluetooth 東芝製モジュールは、Frequency Hopping Spread Spectrum（FHSS）無線技術を使用するあらゆるBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Bluetooth Special Interest Group策定のBluetooth Specification Ver.2.1+EDR
- Bluetooth Special Interest Groupの定義するBluetooth ワイヤレステクノロジーのLogo認証

メモ

- 本製品はすべてのBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器との接続動作を確認したものではありません。ご使用にあたっては、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器対応の動作条件と接続の可否情報を取扱元にご確認ください。

また下記の取り扱い上の注意点があります。

(1) 本製品はBluetooth Version2.1+EDR仕様に準拠しております。
Bluetooth Version1.0B 仕様のBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器とは互換性がありません。
(2) 2.4GHz帯のWireless-LANが近距離で使用されていると通信速度の低下または通信エラーが発生する可能性があります。
(3) BluetoothとWireless-LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth、Wireless-LANのいずれかの使用を中止してください。

付録

■健康への影響

Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた製品はほかの無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルにおさえられています。
Bluetooth 東芝製モジュールの動作は無線周波に関する安全基準と勧告に記載のガイドラインにそっており、安全にお使いいただけるものと東芝では確信しております。この安全基準および勧告には、学会の共通見解と、多岐にわたる研究報告書を継続的に審査、検討している専門家の委員会による審議結果がまとめられています。
ただし周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者がBluetooth ワイヤレステクノロジーの使用を制限する場合があります。次にその例を示します。

- 飛行機の中でBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた装置を使用する場合
- ほかの装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合

個々の組織または環境（空港など）において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた装置の電源を入れる前に、管理者に使用の可否について確認してください。

Regulatory statements

●General

This product complies with any mandatory product specification in any Country/ Region where the product is sold. In addition, the product complies with the following.

●European Union (EU) and EFTA

This equipment complies with the R&TTE directive 1999/5/EC and has been provided with the CE mark accordingly.

●Canada - Industry Canada (IC)

This device complies with RSS 210 of Industry Canada.
Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference , and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of this device."
L ' utilisation de ce dispositif est autorisee seulement aux conditions suivantes : (1) il ne doit pas produire de brouillage et (2) l' utilisateur du dispositif doit etre pret a accepter tout brouillage radioelectrique recu, meme si ce brouillage est susceptible de compromettre le fonctionnement du dispositif.
The term "IC" before the equipment certification number only signifies that the Industry Canada technical specifications were met.

●USA - Federal Communications Commission (FCC)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy. If not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a articular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by tuning the equipment off and on, the user is encouraged to try and correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the distance between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment to outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

TOSHIBA is not responsible for any radio or television interference caused by unauthorized modification of the devices included with this Bluetooth Card from TOSHIBA, or the substitution or attachment of connecting cables and equipment other than specified by TOSHIBA.
The correction of interference caused by such unauthorized modification, substitution or attachment will be the responsibility of the user.

Caution: Exposure to Radio Frequency Radiation.

The radiated output power of the Bluetooth Card from TOSHIBA is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the Bluetooth Card from TOSHIBA shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. The antenna(s) used in this device are located at the upper/lower edge of the LCD screen, and this device has been tested as portable device as defined in Section 2.1093 of FCC rules when the LCD screen is rotated 180 degree and covered the keyboard area. In addition, Bluetooth has been tested with Wireless LAN transceiver for co-location requirements. This device and its antenna(s) must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

The installer of this radio equipment must ensure that the antenna is located or pointed such that it does not emit RF field in excess of Health Canada limits for the general population; consult Safety Code 6, obtainable from Health Canada's website

www.hc-sc.gc.ca/

●Taiwan

Article 12 Without permission granted by the NCC, any company, enterprise, or user is not allowed to change frequency, enhance transmitting power or alter original characteristic as well as performance to a approved low power radio-frequency devices.

Article 14 The low power radio-frequency devices shall not influence aircraft security and interfere legal communications; If found, the user shall cease operating immediately until no interference is achieved.

The said legal communications means radio communications is operated in compliance with the Telecommunications Act.

The low power radio-frequency devices must be susceptible with the interference from legal communications or ISM radio wave radiated devices.

6 使用できる国／地域について

お願い

- 本製品は、次にあげる国／地域の無線規格を取得しております。これらの国／地域以外では使用できません。

アイスランド	オランダ	チェコ	フランス	リトアニア
アイルランド	キプロス	デンマーク	ベルギー	リヒテンシュタイン
アメリカ合衆国	ギリシャ	ドイツ	ポーランド	ルクセンブルク
イギリス	スイス	日本	ポルトガル	
イタリア	スウェーデン	ノルウェー	マルタ	
エストニア	スペイン	ハンガリー	モナコ	
オーストリア	スロバキア	フィンランド	ラトビア	

（2011年9月現在）

さくいん

英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

初期化チェックシート

初期化は、本ページをコピーするなどして、次の項目を順番にチェックしながら実行してください。本ページに記載されている各チェック項目の詳細は、「4章 買ったときの状態に戻すには」で説明しています。

1 初期化をする前に確認すること

□ 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認してみる
□「5章 困ったときは」をご覧になり、ほかのトラブル解消方法を探してみる

2 初期化をはじめる前にしておくこと

□ **①準備するもの**
　□『REGZA Tabletガイド』（本書）
　□ この初期化チェックシートをコピーしたもの

□ **②必要なデータのバックアップをとる**
バックアップをとることができる場合は、とっておいてください。初期化をすると、購入後にインストールしたアプリケーションや各種設定はすべて消失します。また、購入後に作成したデータもすべて消失します。

参照 バックアップについて『オンラインマニュアル』

□ **③各種設定を確認する**

□ **④周辺機器をすべて取りはずす**

3 初期化の流れ

初期化をする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

□ ①初期化
□ ②本製品のセットアップ
□ ③周辺機器を取り付けて、設定する
□ ④データの復元
□ ⑤インターネットやメールの設定
□ ⑥プラットフォームおよびアプリケーションのアップデート